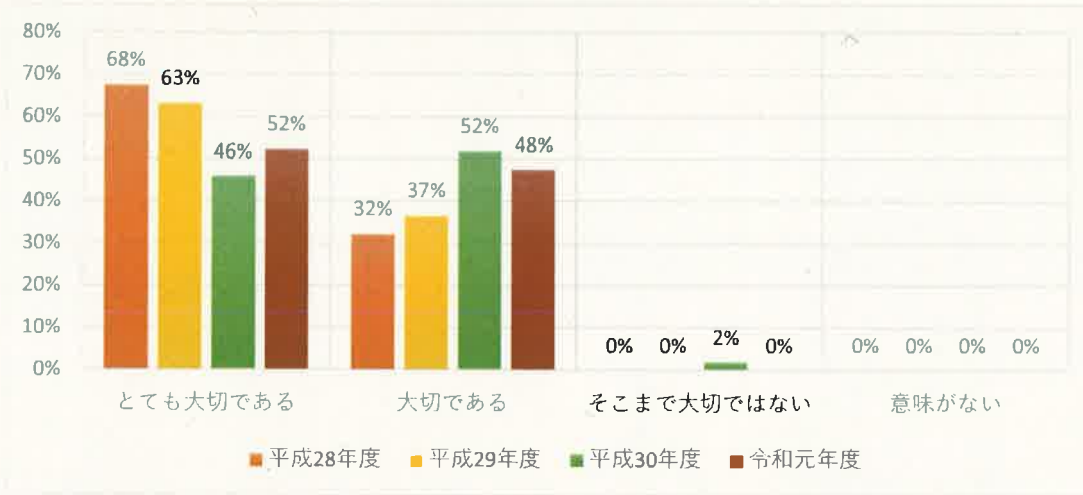


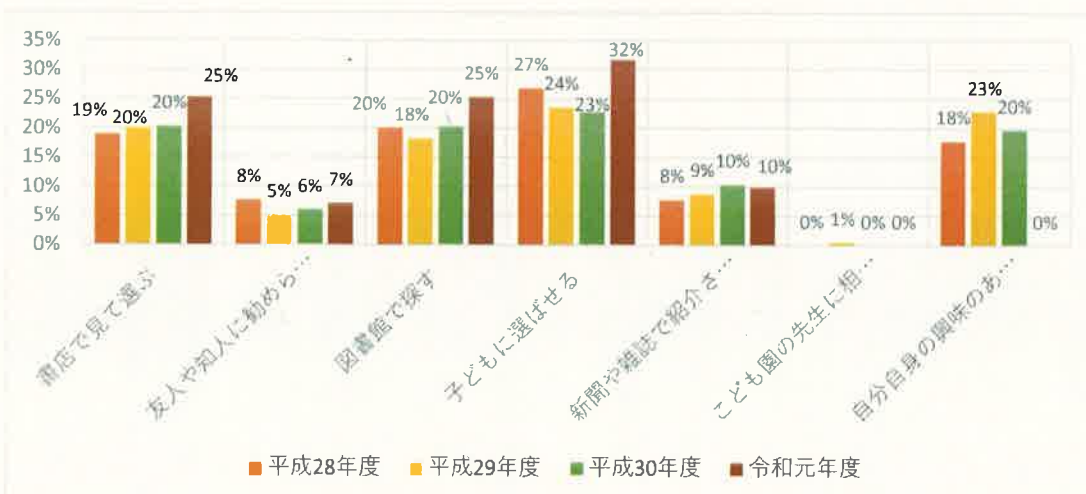
②幼少期の絵本などの読み聞かせについて

	とても大切である	大切である	そこまで大切ではない	意味がない
平成28年度	68%	32%	0%	0%
平成29年度	63%	37%	0%	0%
平成30年度	46%	52%	2%	0%
令和元年度	52%	48%	0%	0%



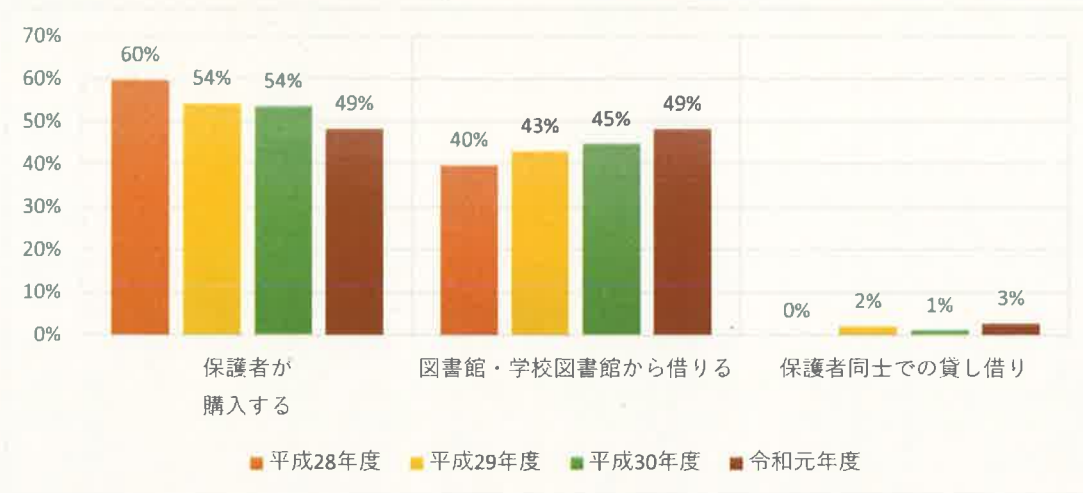
③本の選び方について

	書店で見て選ぶ	友人や知人に勧められて	図書館で探す	子どもに選ばせる	新聞や雑誌で紹介されているもの	こども園の先生に相談する	自分自身の興味のあるもの
平成28年度	19%	8%	20%	27%	8%	0%	18%
平成29年度	20%	5%	18%	24%	9%	1%	23%
平成30年度	20%	6%	20%	23%	10%	0%	20%
令和元年度	25%	7%	25%	32%	10%	0%	0%



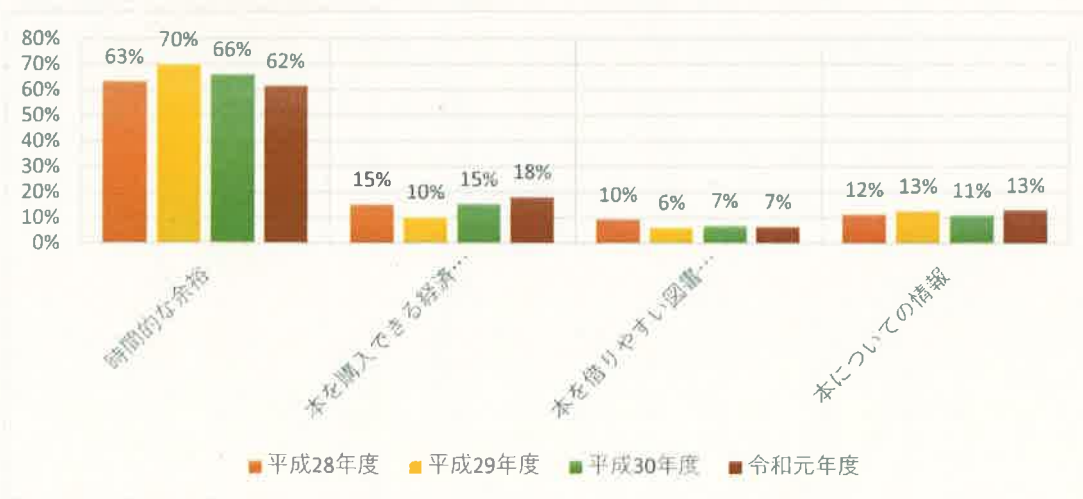
④子どもが読みたい本、保護者が必要と考える本の揃え方

	保護者が購入する	図書館・学校図書館から借りる	保護者同士での貸し借り
平成28年度	60%	40%	0%
平成29年度	54%	43%	2%
平成30年度	54%	45%	1%
令和元年度	49%	49%	3%



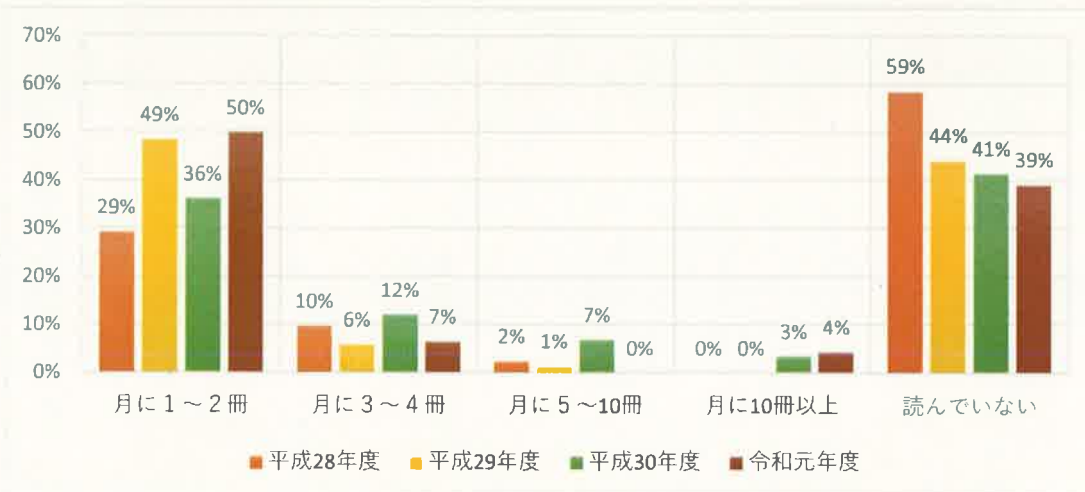
⑤読み聞かせや本と触れ合うために必要なこと

	時間的な余裕	本を購入できる経済的余裕	本を借りやすい図書館の環境	本についての情報
平成28年度	63%	15%	10%	12%
平成29年度	70%	10%	6%	13%
平成30年度	66%	15%	7%	11%
令和元年度	62%	18%	7%	13%



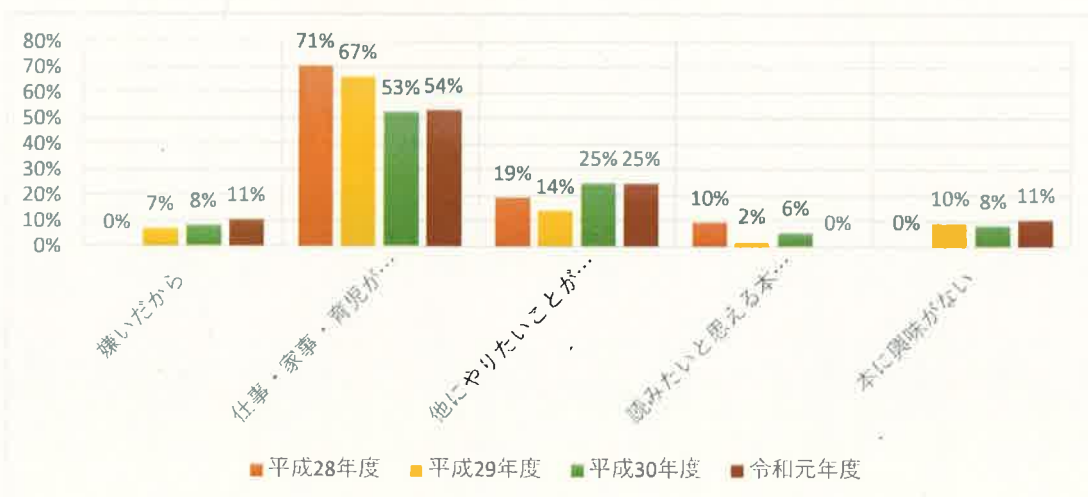
⑥どのくらい本を読みますか(1か月)

	月に1~2冊	月に3~4冊	月に5~10冊	月に10冊以上	読んでいない
平成28年度	29%	10%	2%	0%	59%
平成29年度	49%	6%	1%	0%	44%
平成30年度	36%	12%	7%	3%	41%
令和元年度	50%	7%	0%	4%	39%



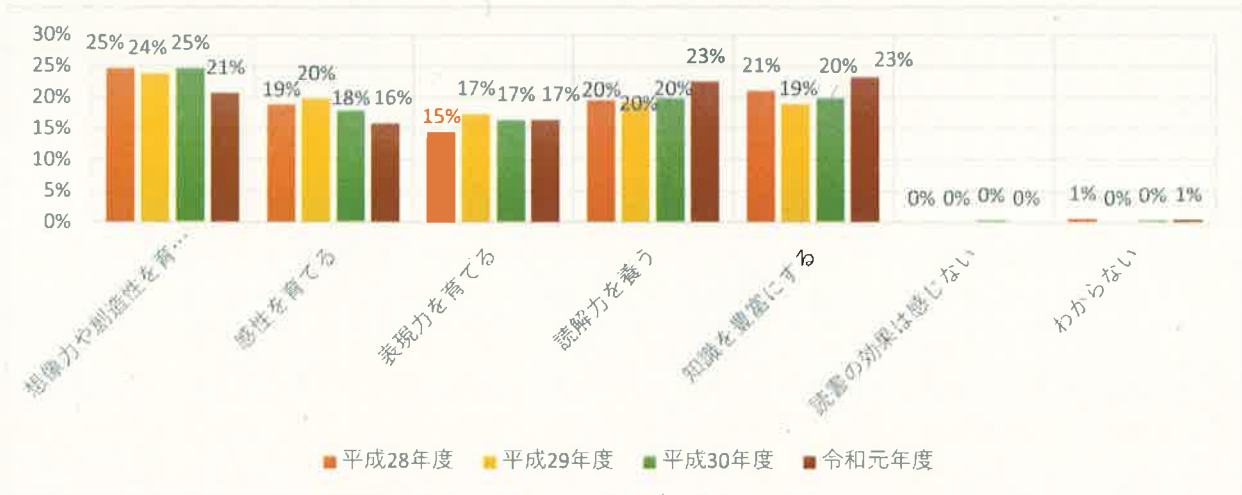
⑦読んでいない理由

	嫌いだから	仕事・家事・育児が忙しい	他にやりたいことがある	読みたいと思える本が手に入らない	本に興味がない
平成28年度	0%	71%	19%	10%	0%
平成29年度	7%	67%	14%	2%	10%
平成30年度	8%	53%	25%	6%	8%
令和元年度	11%	54%	25%	0%	11%



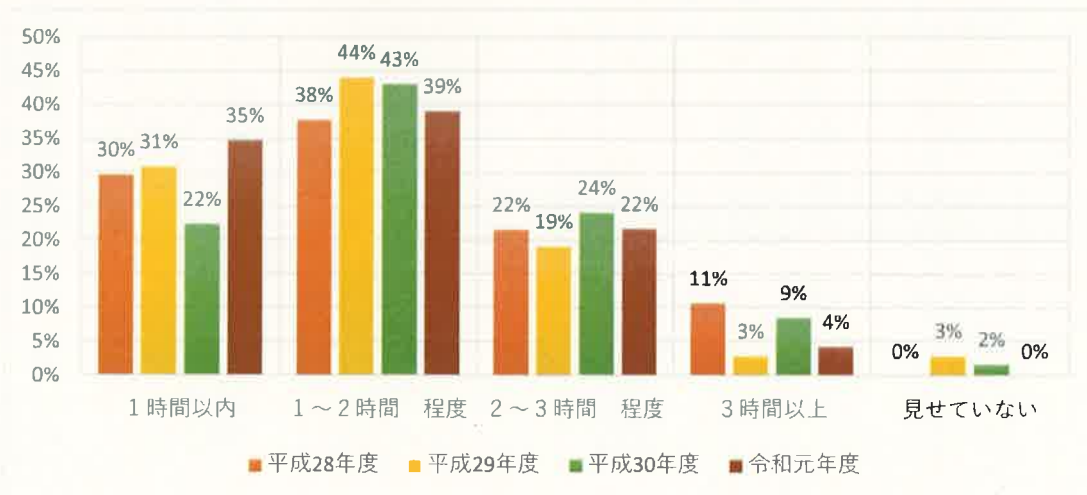
⑧読書が子どもの成長にどんな影響を与えるか

	想像力や創造性を育てる	感性を育てる	表現力を育てる	読解力を養う	知識を豊富にする	読書の効果は感じない	わからない
平成28年度	25%	19%	15%	20%	21%	0%	1%
平成29年度	24%	20%	17%	20%	19%	0%	0%
平成30年度	25%	18%	17%	20%	20%	0%	0%
令和元年度	21%	16%	17%	23%	23%	0%	1%



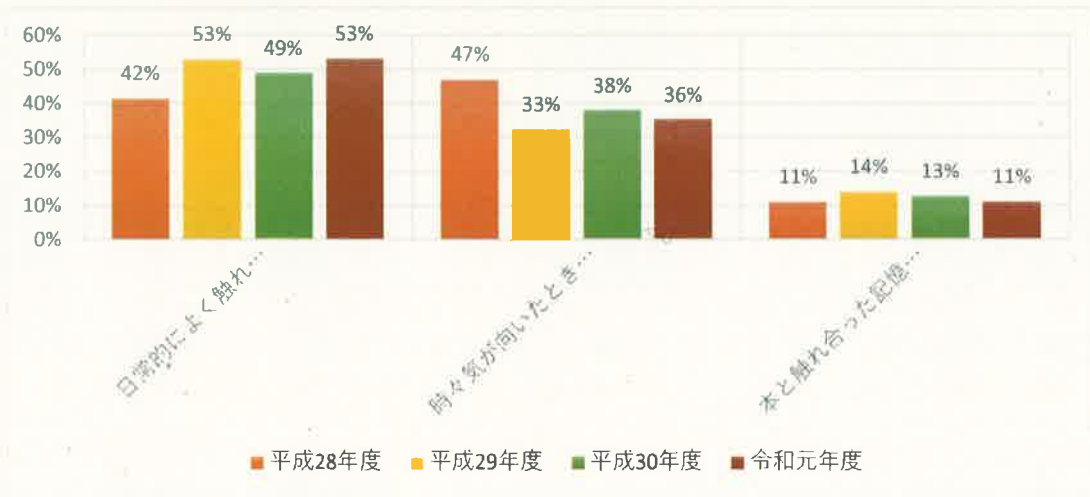
⑨DVDやテレビを見ている時間(1日)

	1時間以内	1～2時間程度	2～3時間程度	3時間以上	見せていない
平成28年度	30%	38%	22%	11%	0%
平成29年度	31%	44%	19%	3%	3%
平成30年度	22%	43%	24%	9%	2%
令和元年度	35%	39%	22%	4%	0%



⑩子どもの頃、本にふれあった経験

	日常によく 触れ合っていた	時々気が向いたときに触れ合う程度	本と触れ合った記憶はあまりない
平成28年度	42%	47%	11%
平成29年度	53%	33%	14%
平成30年度	49%	38%	13%
令和元年度	53%	36%	11%

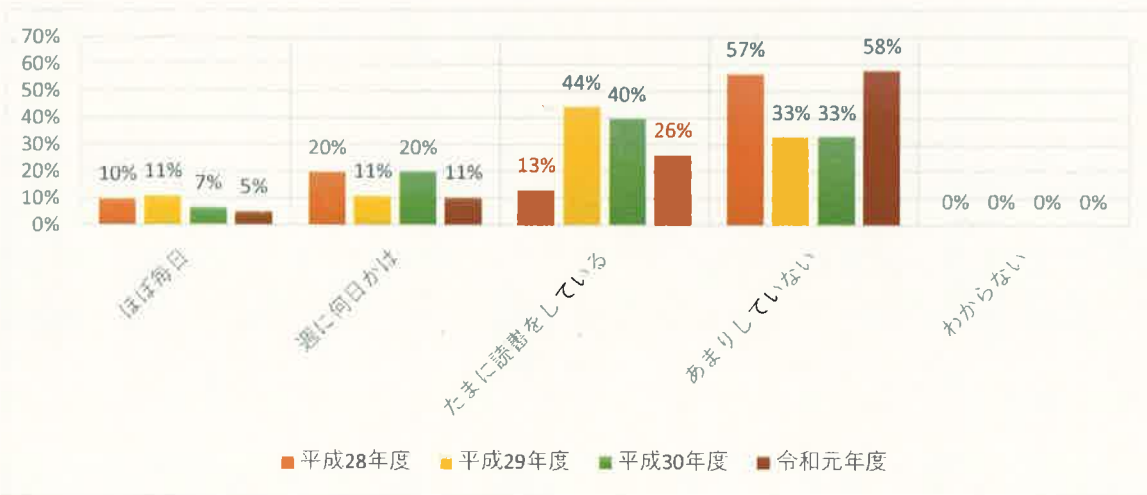


子どもの読書推進計画 読書アンケート経年変化(小2保護者)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
人数	30	18	15	19	82

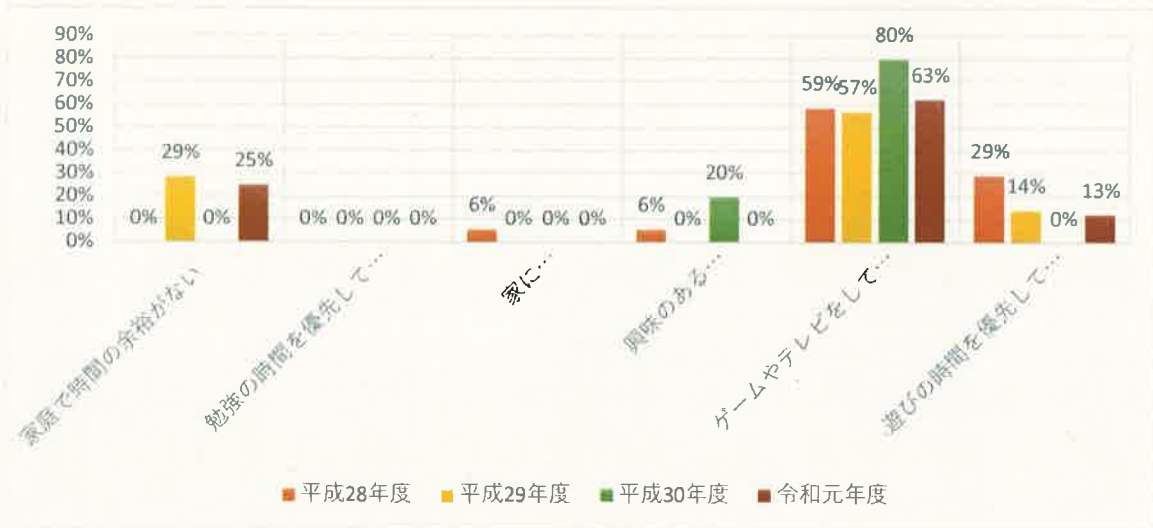
①自主的な読書について(1週間)

	ほぼ毎日	週に何日かは	たまに読書をしている	あまりしていない	わからない
平成28年度	10%	20%	13%	57%	0%
平成29年度	11%	11%	44%	33%	0%
平成30年度	7%	20%	40%	33%	0%
令和元年度	5%	11%	26%	58%	0%



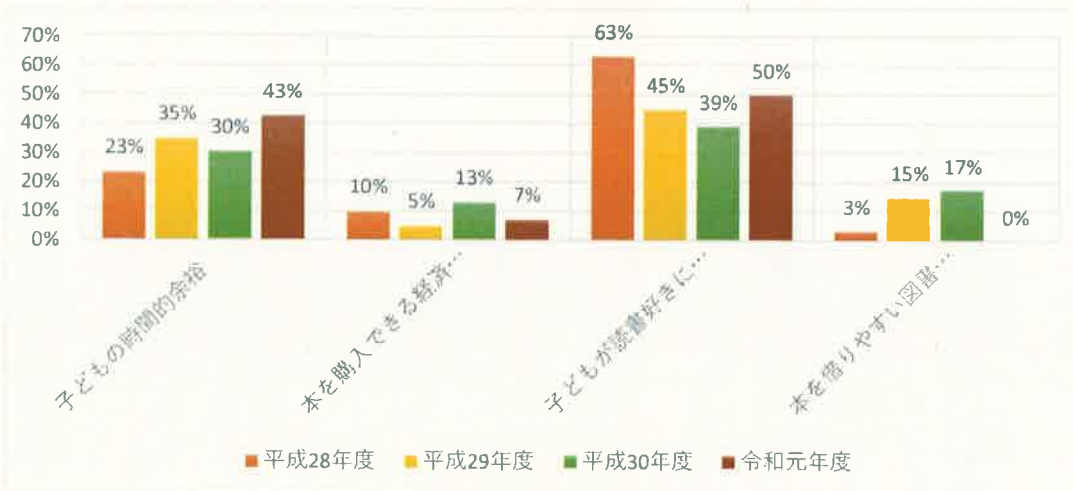
② ①に関して、読書していない人に質問

	家庭で時間の余裕がない	勉強の時間を優先している	家に本がないから	興味のある本を知らない	ゲームやテレビをしている	遊びの時間を優先している
平成28年度	0%	0%	6%	6%	59%	29%
平成29年度	29%	0%	0%	0%	57%	14%
平成30年度	0%	0%	0%	20%	80%	0%
令和元年度	25%	0%	0%	0%	63%	13%



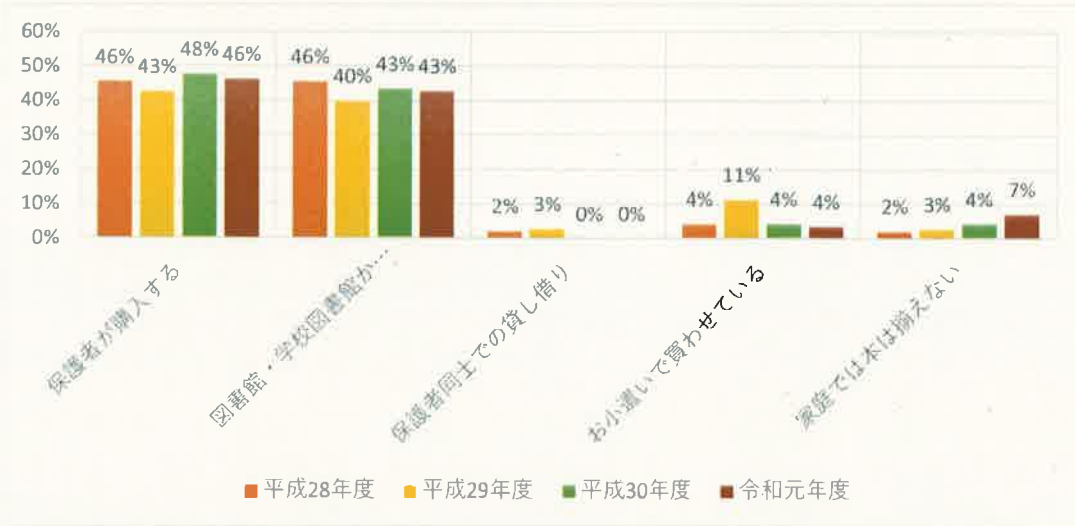
③ 子どもが本に親しむために必要なこと

	子どもの時間的余裕	本を購入できる経済的余裕	子どもが読書好きになること	本を借りやすい図書館・学校図書館
平成28年度	23%	10%	63%	3%
平成29年度	35%	5%	45%	15%
平成30年度	30%	13%	39%	17%
令和元年度	43%	7%	50%	0%



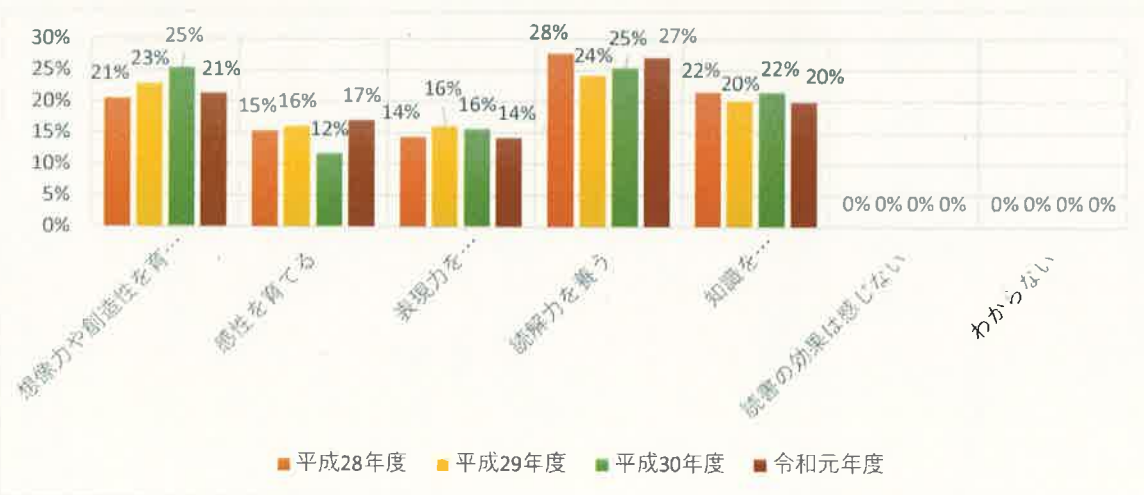
④子どもが読みたい本、保護者が必要と考える本の揃え方

	保護者が購入する	図書館・学校図書館から借りる	保護者同士での貸し借り	お小遣いで買わせている	家庭では本は揃えない
平成28年度	46%	46%	2%	4%	2%
平成29年度	43%	40%	3%	11%	3%
平成30年度	48%	43%	0%	4%	4%
令和元年度	46%	43%	0%	4%	7%



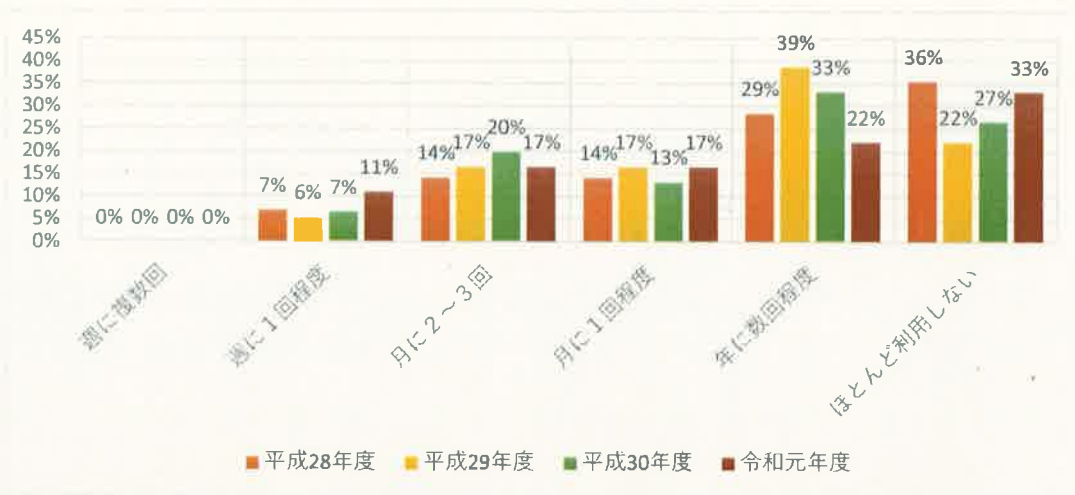
⑤読書が子どもの成長にどんな影響を与えるか

	想像力や創造性を育てる	感性を育てる	表現力を育てる	読解力を養う	知識を豊富にする	読書の効果は感じない	わからない
平成28年度	21%	15%	14%	28%	22%	0%	0%
平成29年度	23%	16%	16%	24%	20%	0%	0%
平成30年度	25%	12%	16%	25%	22%	0%	0%
令和元年度	21%	17%	14%	27%	20%	0%	0%



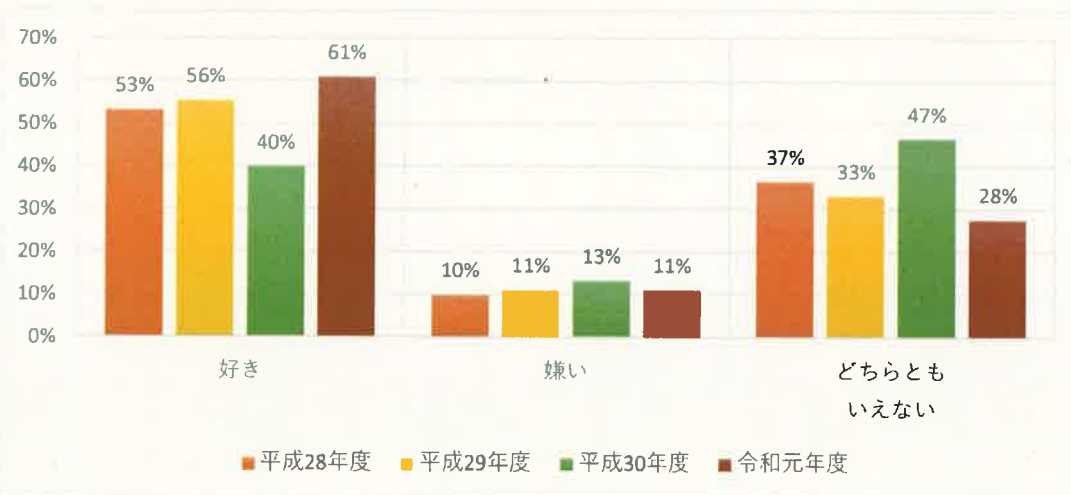
⑥図書館の利用頻度

	週に複数回	週に1回程度	月に2～3回	月に1回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない
平成28年度	0%	7%	14%	14%	29%	36%
平成29年度	0%	6%	17%	17%	39%	22%
平成30年度	0%	7%	20%	13%	33%	27%
令和元年度	0%	11%	17%	17%	22%	33%



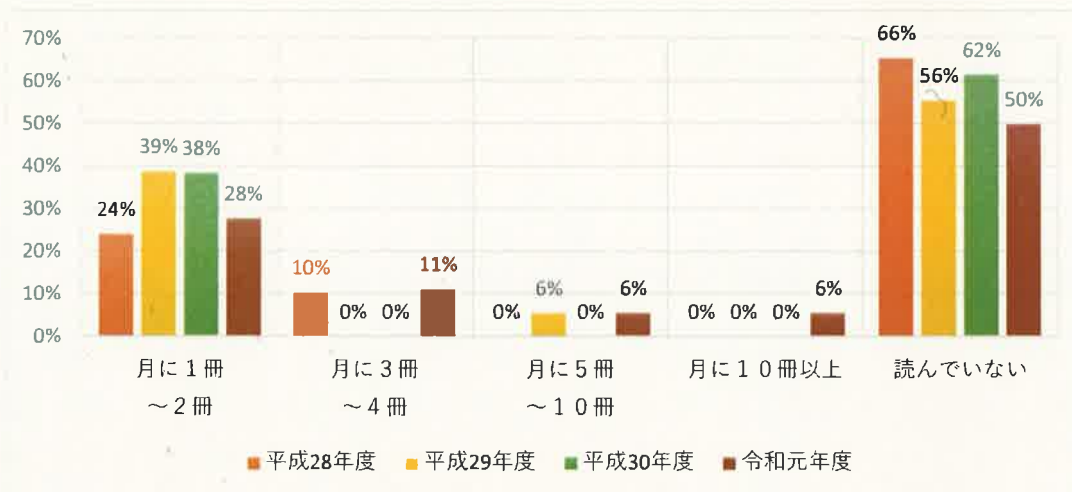
⑦本を読むことが好きか (保護者自身)

	好き	嫌い	どちらとも いえない
平成28年度	53%	10%	37%
平成29年度	56%	11%	33%
平成30年度	40%	13%	47%
令和元年度	61%	11%	28%



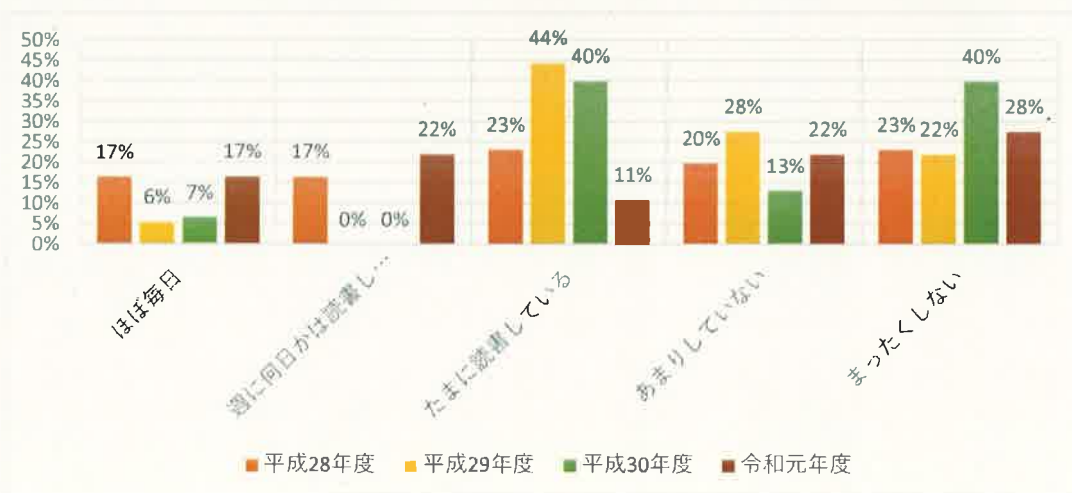
⑧どのくらい本を読むか(1か月)

	月に1冊 ～2冊	月に3冊 ～4冊	月に5冊 ～10冊	月に10冊以上	読んでいない
平成28年度	24%	10%	0%	0%	66%
平成29年度	39%	0%	6%	0%	56%
平成30年度	38%	0%	0%	0%	62%
令和元年度	28%	11%	6%	6%	50%



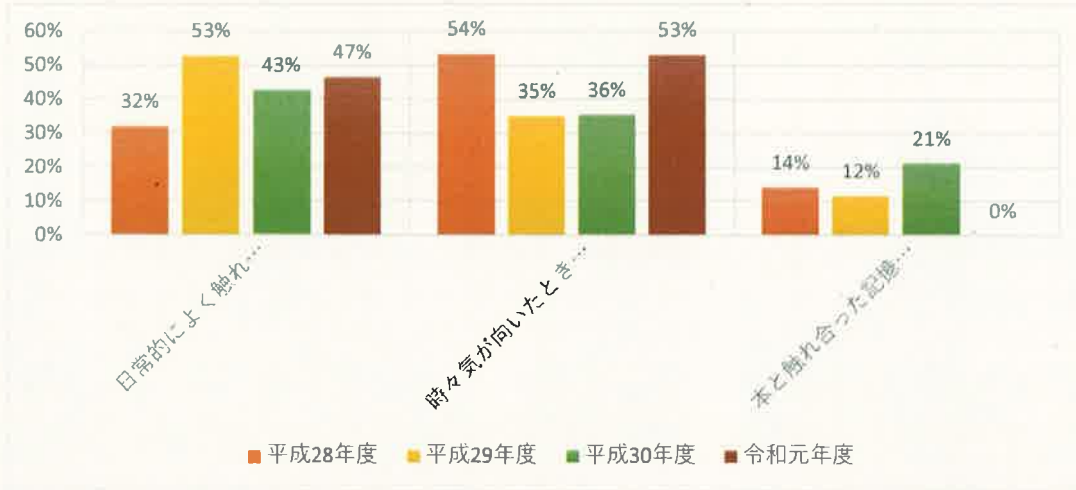
⑨普段どれくらい読書していますか

	ほぼ毎日	週に何日かは 読書している	たまに読書し ている	あまりしてい ない	まったくし ない
平成28年度	17%	17%	23%	20%	23%
平成29年度	6%	0%	44%	28%	22%
平成30年度	7%	0%	40%	13%	40%
令和元年度	17%	22%	11%	22%	28%



⑩子どもの頃、本にふれあった経験

	日常的によく触れ合っていた	時々気が向いたときに触れ合う程度だった	本と触れ合った記憶はあまりない
平成28年度	32%	54%	14%
平成29年度	53%	35%	12%
平成30年度	43%	36%	21%
令和元年度	47%	53%	0%

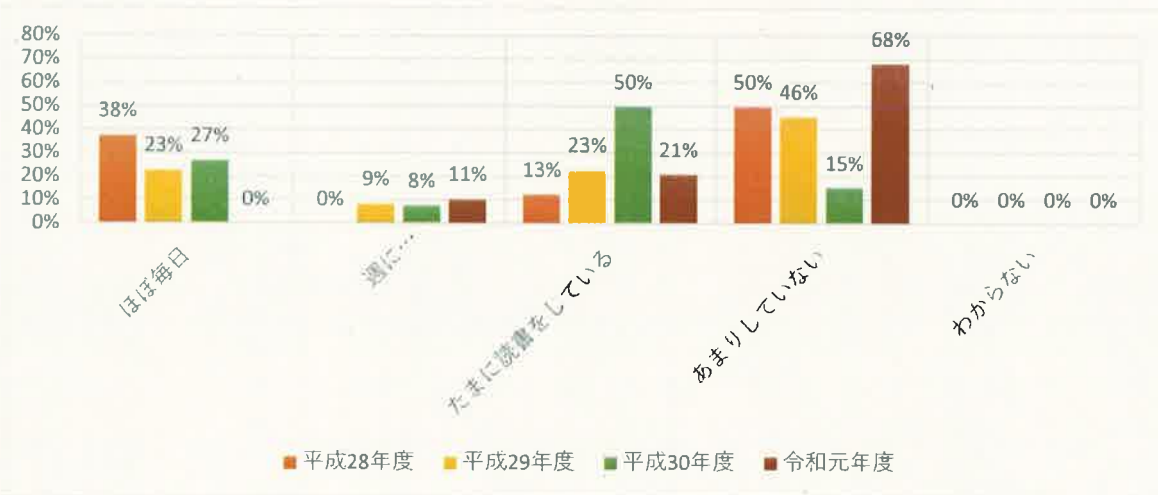


子どもの読書推進計画 読書アンケート経年変化(小5保護者)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
人数	8	34	26	20	88

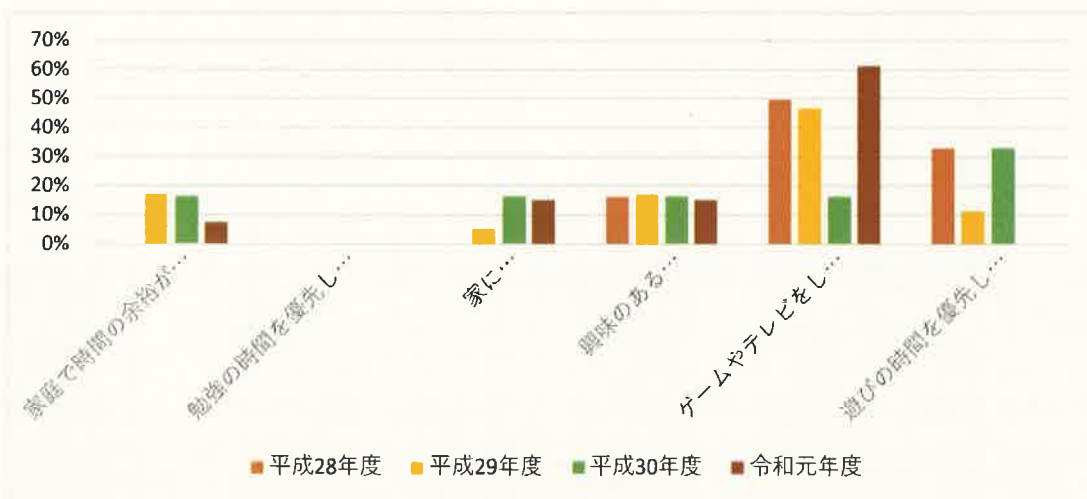
①自主的な読書について(1週間)

	ほぼ毎日	週に 何日かは	たまに読書を している	あまりしてい ない	わからない
平成28年度	38%	0%	13%	50%	0%
平成29年度	23%	9%	23%	46%	0%
平成30年度	27%	8%	50%	15%	0%
令和元年度	0%	11%	21%	68%	0%



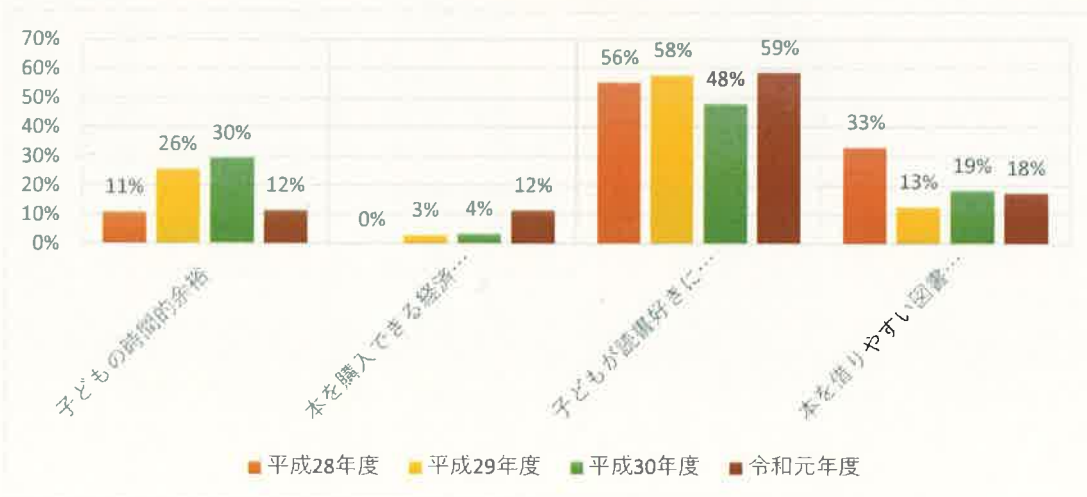
② ①に関して、読書していない人に質問

	家庭で時間の余裕がない	勉強の時間を優先している	家に本がないから	興味のある本を知らない	ゲームやテレビをしている	遊びの時間を優先している
平成28年度	0%	0%	0%	17%	50%	33%
平成29年度	18%	0%	6%	18%	47%	12%
平成30年度	17%	0%	17%	17%	17%	33%
令和元年度	8%	0%	15%	15%	62%	0%



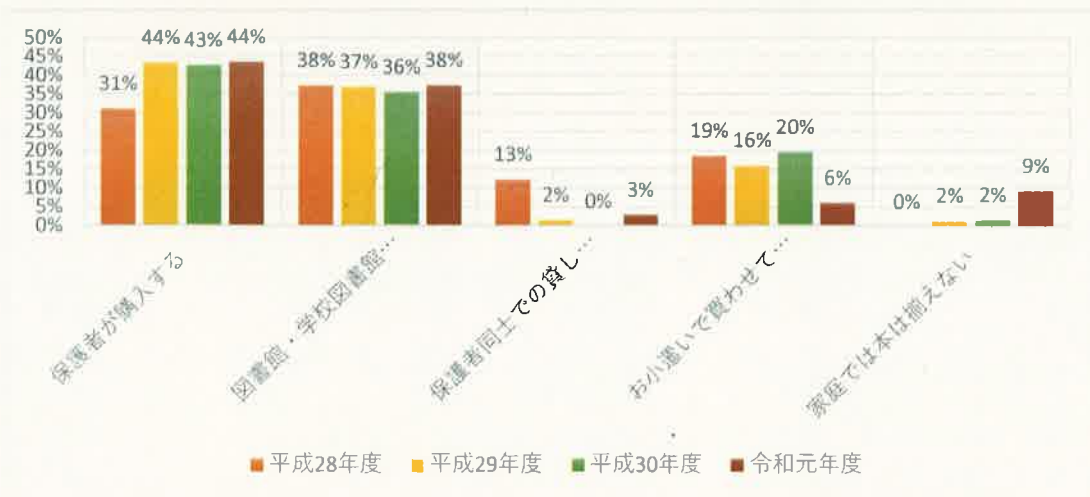
③子どもが本に親しむために必要なこと

	子どもの時間的余裕	本を購入できる経済的余裕	子どもが読書好きになること	本を借りやすい図書館・学校図書館
平成28年度	11%	0%	56%	33%
平成29年度	26%	3%	58%	13%
平成30年度	30%	4%	48%	19%
令和元年度	12%	12%	59%	18%



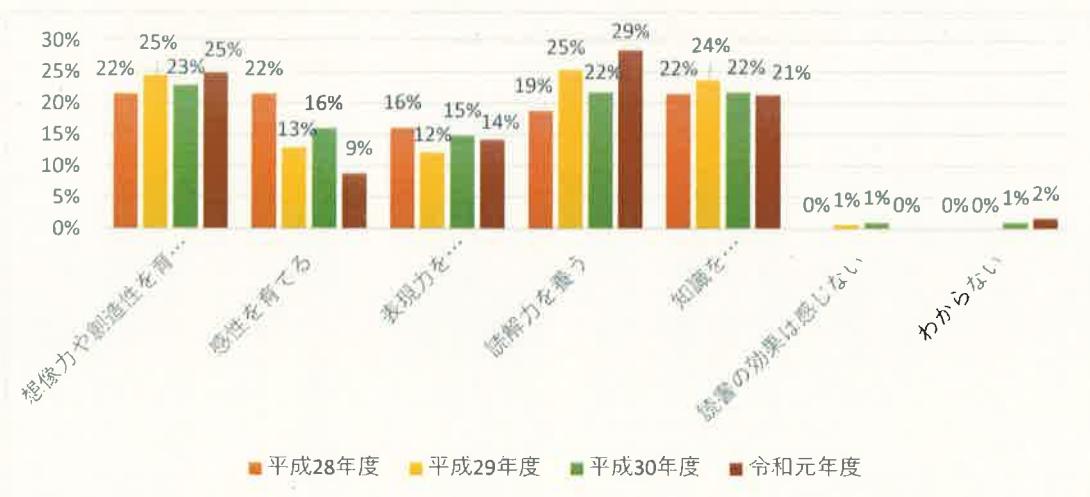
④子どもが読みたい本、保護者が必要と考える本の揃え方

	保護者が購入する	図書館・学校図書館から借りる	保護者同士での貸し借り	お小遣いで買わせている	家庭では本は揃えない
平成28年度	31%	38%	13%	19%	0%
平成29年度	44%	37%	2%	16%	2%
平成30年度	43%	36%	0%	20%	2%
令和元年度	44%	38%	3%	6%	9%



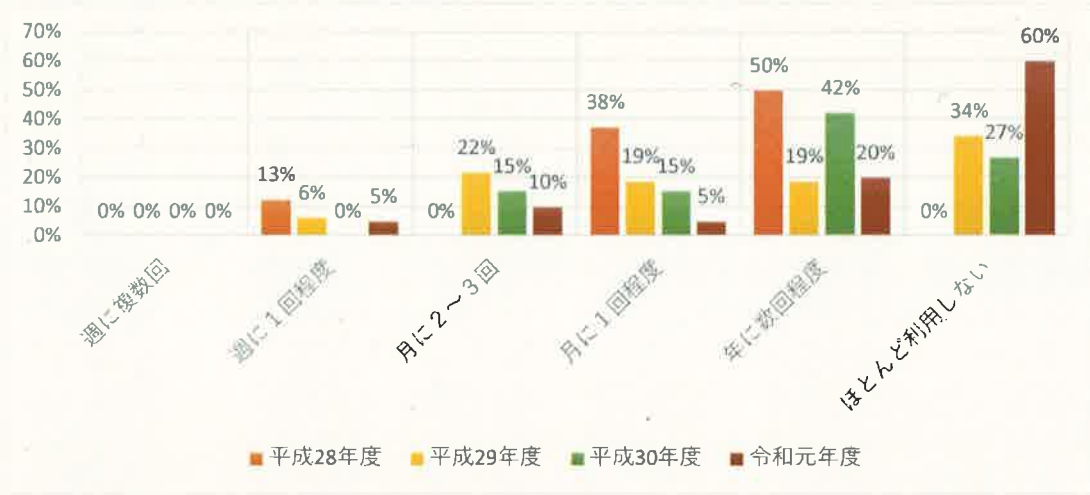
⑤読書が子どもの成長にどんな影響を与えるか

	想像力や創造性を育てる	感性を育てる	表現力を育てる	読解力を養う	知識を豊富にする	読書の効果は感じない	わからない
平成28年度	22%	22%	16%	19%	22%	0%	0%
平成29年度	25%	13%	12%	25%	24%	1%	0%
平成30年度	23%	16%	15%	22%	22%	1%	1%
令和元年度	25%	9%	14%	29%	21%	0%	2%



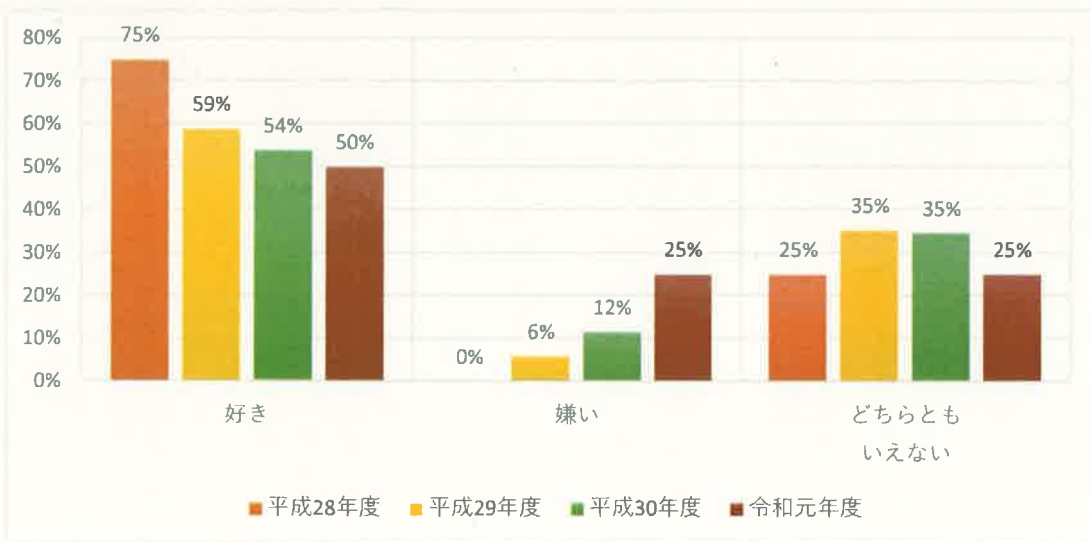
⑥図書館の利用頻度

	週に複数回	週に1回程度	月に2～3回	月に1回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない
平成28年度	0%	13%	0%	38%	50%	0%
平成29年度	0%	6%	22%	19%	19%	34%
平成30年度	0%	0%	15%	15%	42%	27%
令和元年度	0%	5%	10%	5%	20%	60%



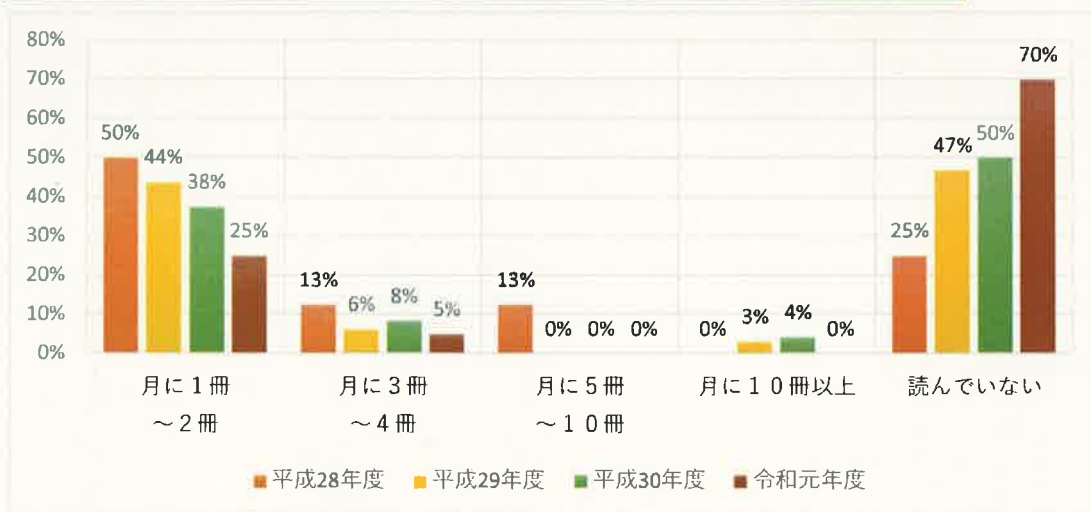
⑦本を読むことが好きか (保護者自身)

	好き	嫌い	どちらとも いえない
平成28年度	75%	0%	25%
平成29年度	59%	6%	35%
平成30年度	54%	12%	35%
令和元年度	50%	25%	25%



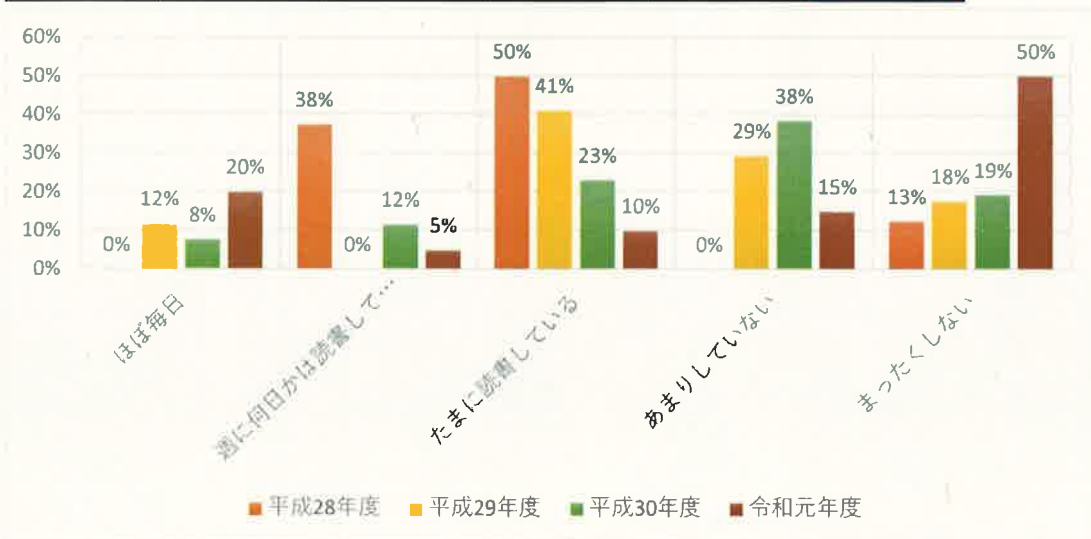
⑧どのくらい本を読むか(1か月)

	月に1冊 ～2冊	月に3冊 ～4冊	月に5冊 ～10冊	月に10冊以 上	読んでいない
平成28年度	50%	13%	13%	0%	25%
平成29年度	44%	6%	0%	3%	47%
平成30年度	38%	8%	0%	4%	50%
令和元年度	25%	5%	0%	0%	70%



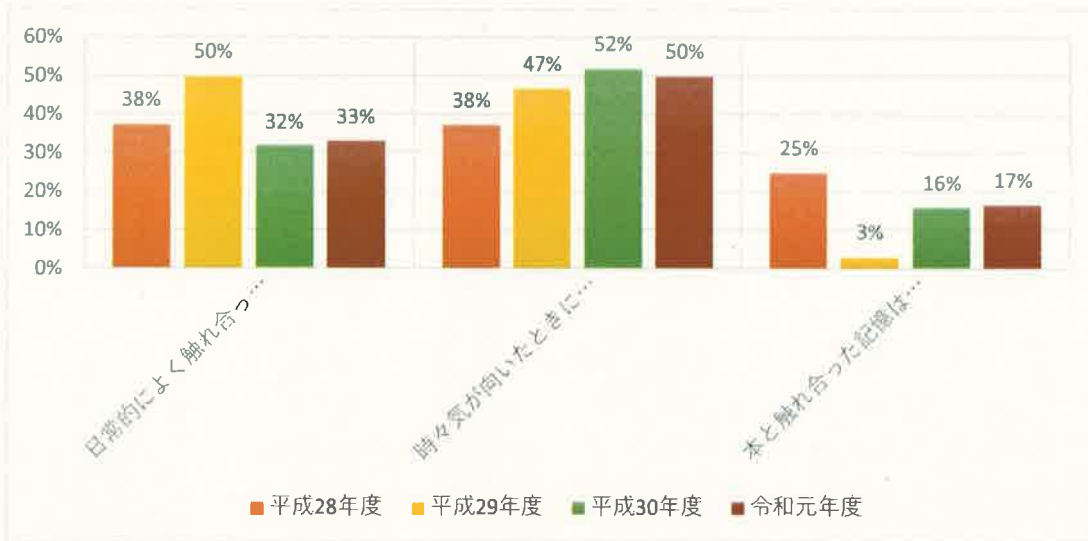
⑨普段どれくらい読書していますか

	ほぼ毎日	週に何日かは 読書している	たまに読書し ている	あまりしてい ない	まったくし ない
平成28年度	0%	38%	50%	0%	13%
平成29年度	12%	0%	41%	29%	18%
平成30年度	8%	12%	23%	38%	19%
令和元年度	20%	5%	10%	15%	50%



⑩子どもの頃、本にふれあった経験

	日常的によく触れ合っていた	時々気が向いたときに触れ合う程度だった	本と触れ合った記憶はあまりない
平成28年度	38%	38%	25%
平成29年度	50%	47%	3%
平成30年度	32%	52%	16%
令和元年度	33%	50%	17%

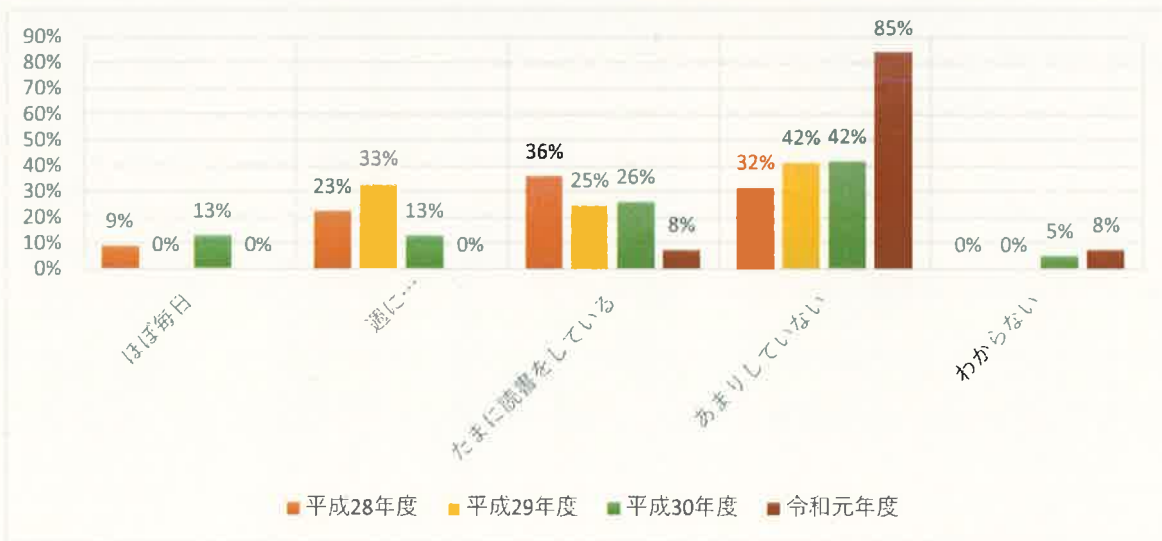


子どもの読書推進計画 読書アンケート経年変化(中2保護者)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
人数	24	12	38	13	87

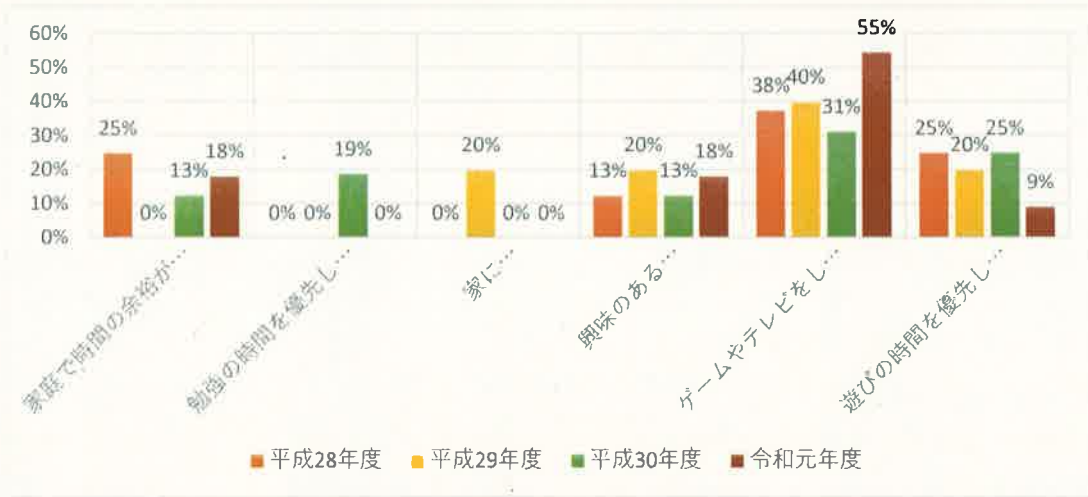
①自主的な読書について(1週間)

	ほぼ毎日	週に 何日かは	たまに読書を している	あまりしてい ない	わからない
平成28年度	9%	23%	36%	32%	0%
平成29年度	0%	33%	25%	42%	0%
平成30年度	13%	13%	26%	42%	5%
令和元年度	0%	0%	8%	85%	8%



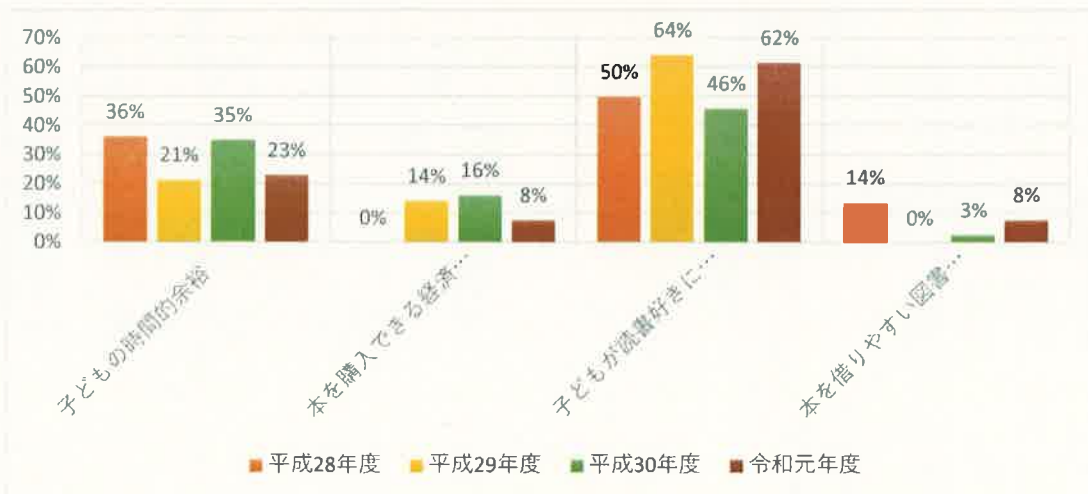
② ①に関して、読書していない人に質問

	家庭で時間の余裕がない	勉強の時間を優先している	家に本がないから	興味のある本を知らない	ゲームやテレビをしている	遊びの時間を優先している
平成28年度	25%	0%	0%	13%	38%	25%
平成29年度	0%	0%	20%	20%	40%	20%
平成30年度	13%	19%	0%	13%	31%	25%
令和元年度	18%	0%	0%	18%	55%	9%



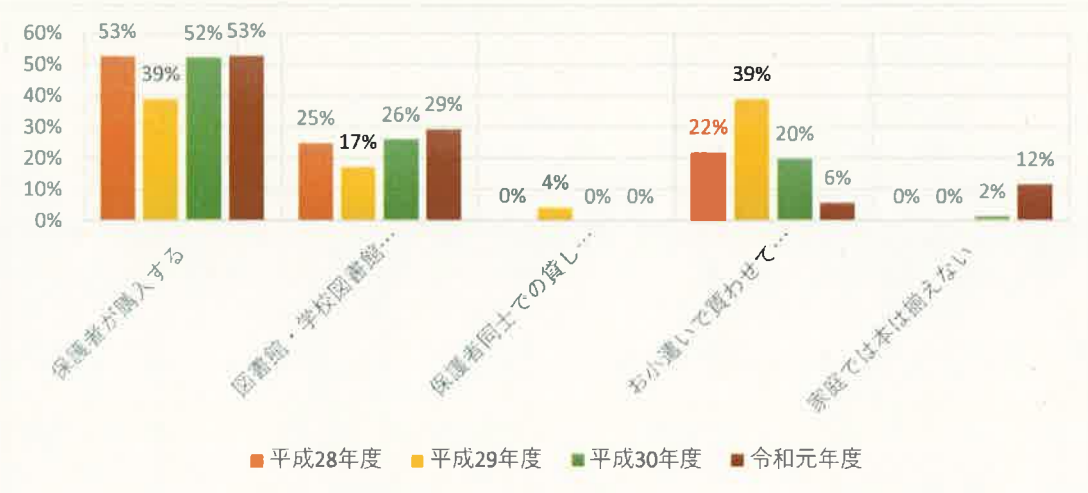
③子どもが本に親しむために必要なこと

	子どもの時間的余裕	本を購入できる経済的余裕	子どもが読書好きになること	本を借りやすい図書館・学校図書館
平成28年度	36%	0%	50%	14%
平成29年度	21%	14%	64%	0%
平成30年度	35%	16%	46%	3%
令和元年度	23%	8%	62%	8%



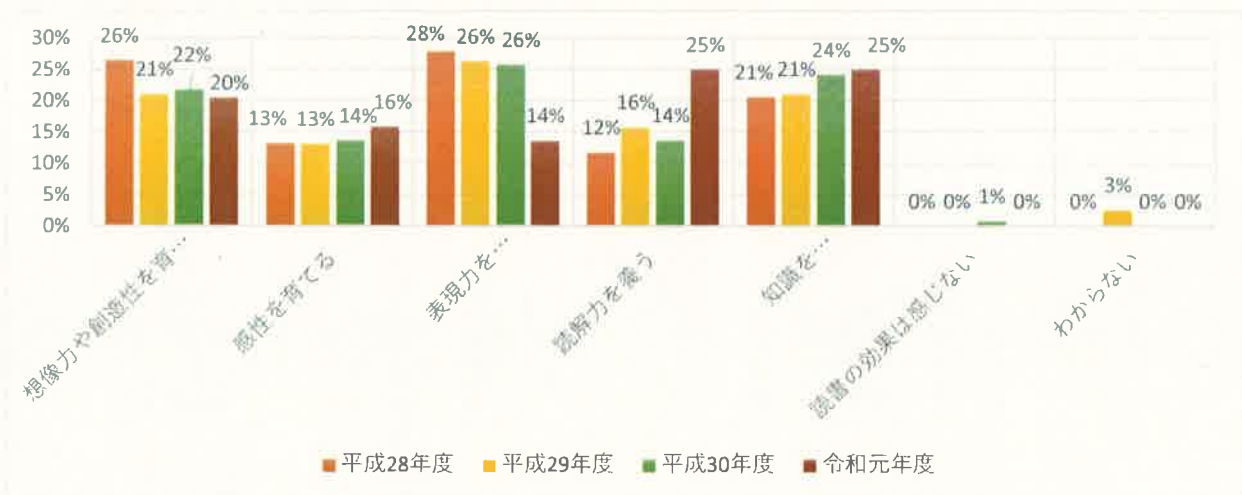
④子どもが読みたい本、保護者が必要と考える本の揃え方

	保護者が購入する	図書館・学校図書館から借りる	保護者同士での貸し借り	お小遣いで買わせている	家庭では本は揃えない
平成28年度	53%	25%	0%	22%	0%
平成29年度	39%	17%	4%	39%	0%
平成30年度	52%	26%	0%	20%	2%
令和元年度	53%	29%	0%	6%	12%



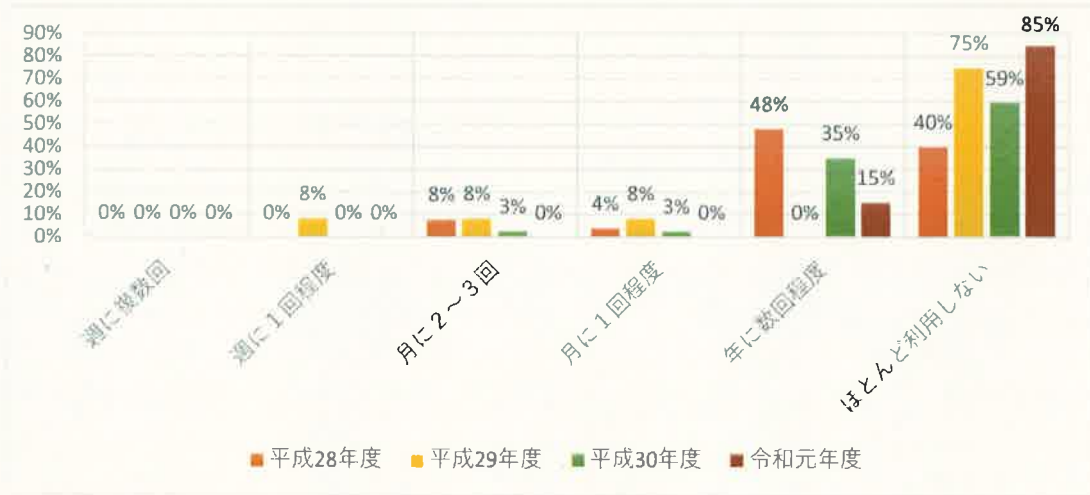
⑤読書が子どもの成長にどんな影響を与えるか

	想像力や創造性を育てる	感性を育てる	表現力を育てる	読解力を養う	知識を豊富にする	読書の効果は感じない	わからない
平成28年度	26%	13%	28%	12%	21%	0%	0%
平成29年度	21%	13%	26%	16%	21%	0%	3%
平成30年度	22%	14%	26%	14%	24%	1%	0%
令和元年度	20%	16%	14%	25%	25%	0%	0%



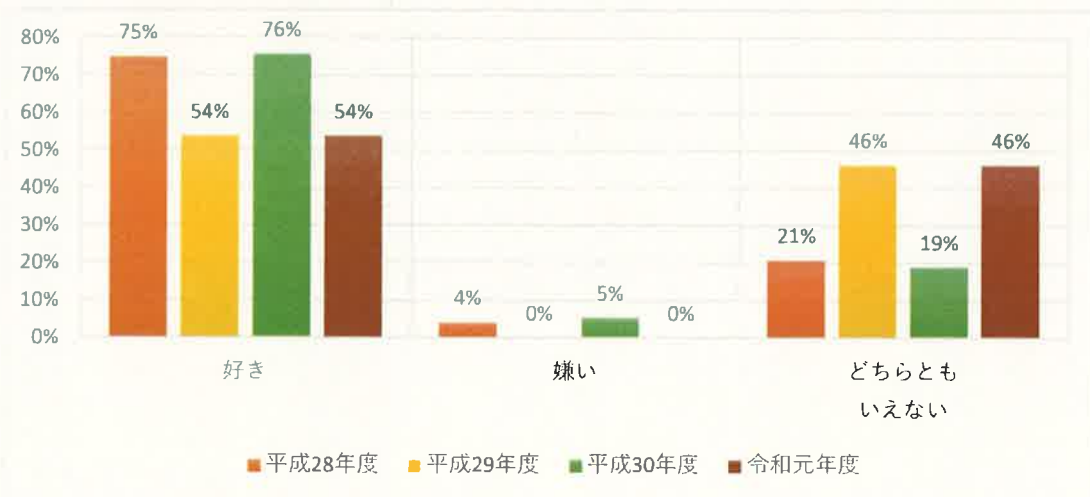
⑥図書館の利用頻度

	週に複数回	週に1回程度	月に2～3回	月に1回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない
平成28年度	0%	0%	8%	4%	48%	40%
平成29年度	0%	8%	8%	8%	0%	75%
平成30年度	0%	0%	3%	3%	35%	59%
令和元年度	0%	0%	0%	0%	15%	85%



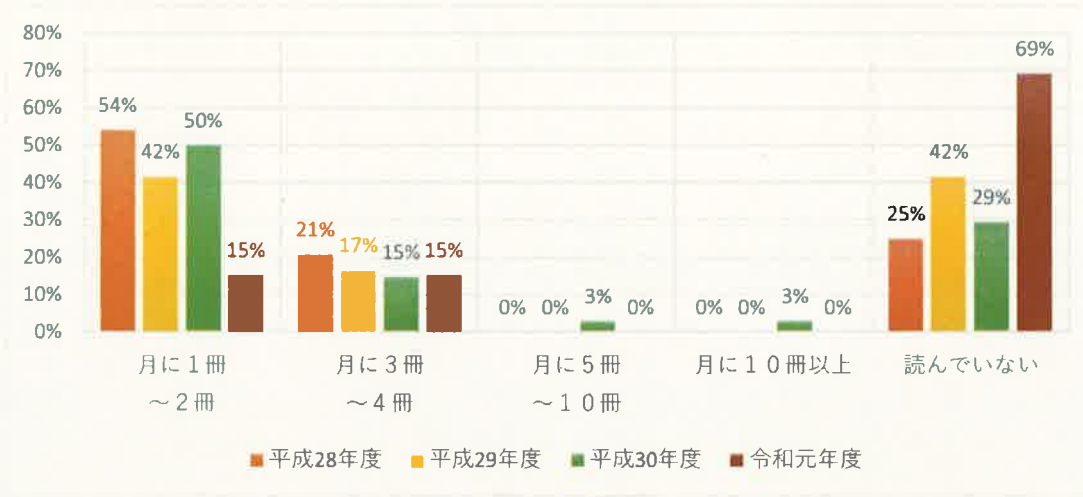
⑦本を読むことが好きか (保護者自身)

	好き	嫌い	どちらとも いえない
平成28年度	75%	4%	21%
平成29年度	54%	0%	46%
平成30年度	76%	5%	19%
令和元年度	54%	0%	46%



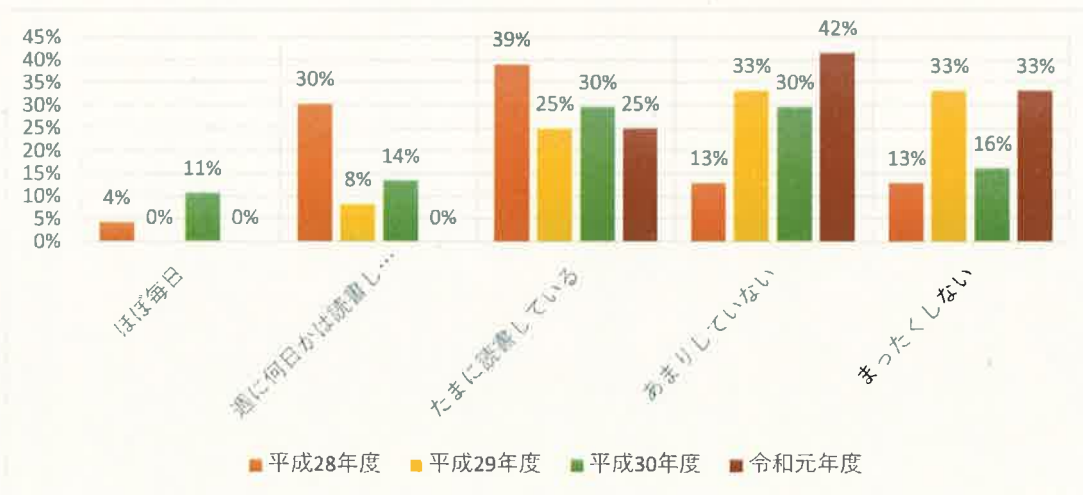
⑧どのくらい本を読むか(1か月)

	月に1冊 ～2冊	月に3冊 ～4冊	月に5冊 ～10冊	月に10冊以 上	読んでいない
平成28年度	54%	21%	0%	0%	25%
平成29年度	42%	17%	0%	0%	42%
平成30年度	50%	15%	3%	3%	29%
令和元年度	15%	15%	0%	0%	69%



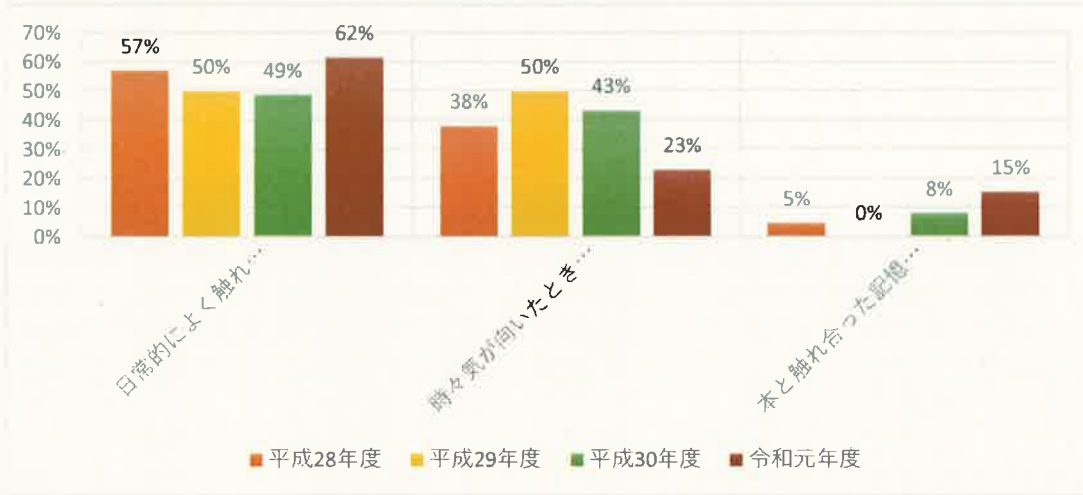
⑨普段どれくらい読書していますか

	ほぼ毎日	週に何日かは 読書している	たまに読書し ている	あまりしてい ない	まったくし ない
平成28年度	4%	30%	39%	13%	13%
平成29年度	0%	8%	25%	33%	33%
平成30年度	11%	14%	30%	30%	16%
令和元年度	0%	0%	25%	42%	33%



⑩子どもの頃、本にふれあった経験

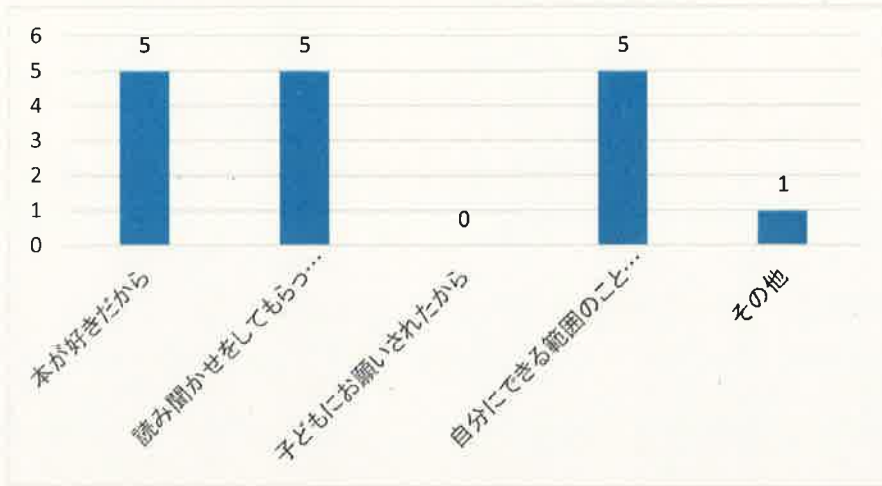
	日常的によく触れ合っていた	時々気が向いたときに触れ合う程度だった	本と触れ合った記憶はあまりない
平成28年度	57%	38%	5%
平成29年度	50%	50%	0%
平成30年度	49%	43%	8%
令和元年度	62%	23%	15%



上士幌小学校 読み聞かせボランティア アンケート集計
 該当者…10名、回答者…7名

①「読み聞かせボランティア」をされたきっかけを教えてください。
 (当てはまる回答すべて)

本が好きだから	読み聞かせを してもらったこ とがあったか ら	子どもにお願 いされたから	自分にできる 範囲のことだ から	その他
5	5	0	5	1

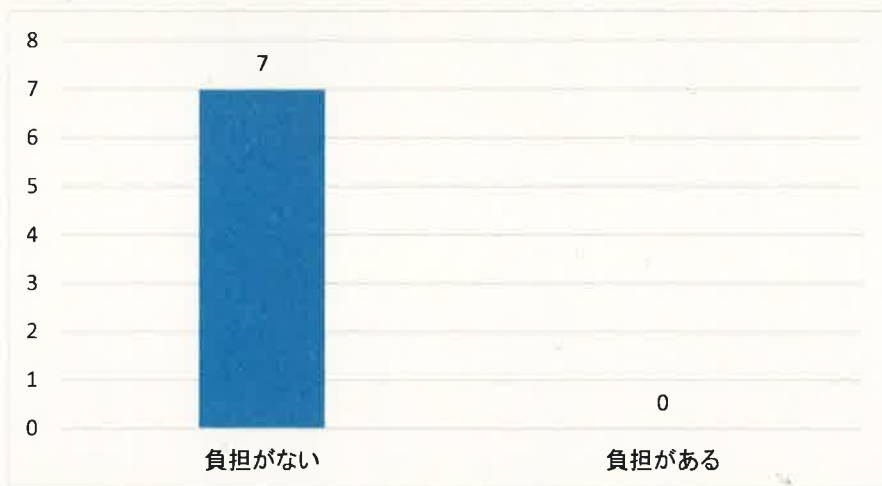


その他の回答

自分自身が小さい頃読み聞かせをしてもらった事が今でも覚えていて、とても良い思い出として残っていて、自分でも無理しないで自分のペースで参加できるからと思うので。

②「読み聞かせボランティア」の日程調整等は読書コーディネーターが行っている。現在の方法でご自分の負担になると思われることはありますか？

負担がない	負担がある
7	0

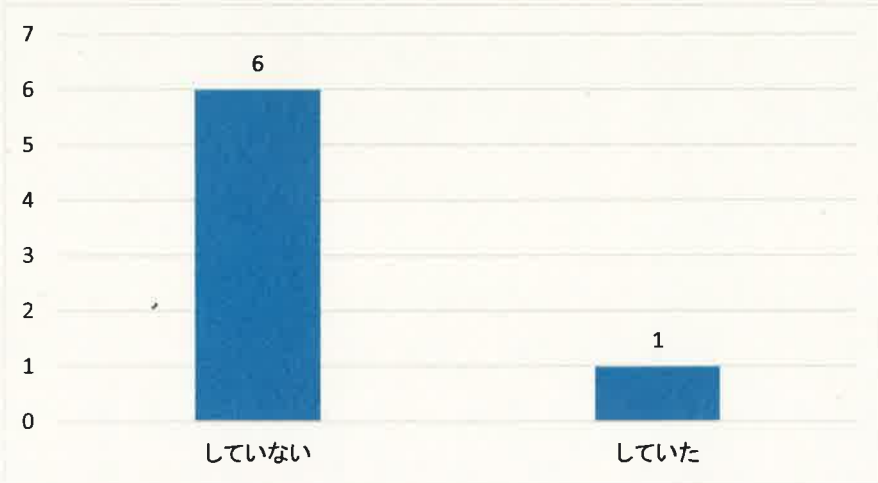


記述回答

負担感はないのですが、子どもが「いついつ空いてますよ。OKですよ。」の紙を提出していなかったことがある。子を介さず、直接やり取りOKでも私はかまわないのですが…。

③「読み聞かせボランティア」の日程調整等を読書コーディネーターが行っている。
読書コーディネーターがいなかった場合は読み聞かせボランティアをされていましたか？

していない	していた
6	1



記述回答

・やはり読書コーディネーターの方がいなかったら、相談したくても先生方は忙しいだろうと思い、読み聞かせボランティアは参加していなかったと思います。
・コーディネーターがいてこそ「学校とボランティアの間に入って調整する」ということができるのだと思います。一人で学校にお願いして読み聞かせに入らせていただくことは考えられません。敷居が高すぎます。

④「上士幌町図書館」を含めた読書環境についてのご意見・ご要望

・入りやすくして良いですね。本までの物理的距離が近くて便利です。図書館も小学校の図書室も。新着コーナー、特集コーナー、返却された本の棚、好きです。何か読みたいけど、何がいいか、ぼんやり出会いを求めることもあるので、特集の充実をお願いします。
・とても恵まれているかと思います。小さい頃から絵本等にふれると、本が好きな子になるかな、なって欲しいな、という親のエゴはさておき。(笑)本を通して親子でふれあう、接する、という良い機会になるのは確かかなと思います。電子読書に親(大人)が慣れてしまうのは、ちょっと残念というか、淋しい気がします。
・子供からお年寄りまで、利用しやすく、本の種類もバラエティーにそろえてあって良いと思います。
・読み聞かせの回数が増えたらありがたいが、子どもからお便りが届かないことがあるので、常時、決まっている人は直接連絡がほしいです。手紙、メール、電話など。(また、春の時に○曜日がよいとか○日がダメとか集計をとるなど)
・この状況でしばらく図書館には行っていませんが、いつも壁などに、その季節のかざりつけなど、とてもかわいらしくて、図書館の職員さん達で色々工夫をしているなあいつも見ていました。イベントなどでも息子が参加しており、また再開したら行きたいなと思っています。
・今は本を探す時、図書館にある端末で検索しますが、パソコンやスマホなどでできたら、と思っています。予約も含め。読み聞かせは、子どもに読書をすすめるためにとても良いことだと思っています。是非これからも続けてほしいと思います。
・図書館に無い本も他の図書館より借りてもらえて、読みたい本が読めるのが嬉しいです。

大項目	施策		事業内容	計画全体の評価
	中項目	個別事業		
「いつも身近に本がある」環境づくり	有機的につながる読書のネットワークづくり	子どもの読書に関わる情報の共有する機会の創設	<p>実績</p> <p>社会教育委員の会議で図書館事業を報告。</p> <p>○図書館事業報告が中心となっている。 ○社会教育委員の会議以外の関係組織・団体との情報共有や連携の場面が少ない。</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○情報を共有できる機会を増やすにはどうするかを検討する必要がある。 ○図書館イベントや読み聞かせの機会等も活用することを検討する必要がある。 ○様々な方からの本の紹介を実施してみようか。 ○こども園と小・中学校図書館担当者、学童指導員、図書館担当者一堂に会し「(仮称)子どもの読書担当者会議」を年に数回開催するとよいと思われる。 ○年に数回程度、子どもの読書に関わるお知らせを発信することを検討してみようか。 ○蔵書数が安定したことでパネルシアターやエプロンシアターなどを用意することができた。子どもたちは絵本や紙芝居以外でも物語にかかわることを楽しめている。 ○今後も劣化した本の更新や子どもの興味に合わせた新書を購入していく。蔵書数を安定させ、子どもたちのそばに本がある環境をつくり、本を好きになるきっかけづくりをしていく。 ○今後も継続が必要と思われる。 ○とても良いと思われるため、継続してもらいたい。 ○今後も絵本等の購入により、さらなる蔵書の充実が望まれる。 ○蔵書数が増加してきたようなので、今後については人気のあるパネリングセラーとなっている本の更新を新しい本の購入と併せて行うことが大事だと思われる。 ○園内での絵本等の不足分は図書館の活用で補うことも必要と思われる。 ○認定こども園と図書館には定期的な関わりが無い。 ○パネルシアターや紙芝居、しかけ絵本、布絵本、大型絵本等を図書館から定期的に貸し出しを行い、情報交換も定期的に行ってみようか。 ○読み聞かせなどの図書館行事に特別ゲストとしてALTYや国際交流推進員が参加し、読み手となるなどを検討してはどうか。</p>
	認定こども園における読書の充実方策	認定こども園の継続的な蔵書の充実	<p>平成28年度図書購入費 10万円 購入冊数 81冊</p> <p>平成29年度図書購入費 10万円 購入冊数 72冊</p> <p>平成30年度図書購入費 10万円 購入冊数 61冊</p> <p>令和元年度図書購入費 10万円 購入冊数 絵本 20冊 パネルシアター 3作品 エプロンシアター 2作品 パネル板 1つ</p> <p>令和2年度図書購入費 10万円 購入予定数 58冊 蔵書予定数 2621冊</p>	<p>○新書や劣化した本の更新のため夢基金活用し購入をしている。 ○子どもの興味に合わせて購入を検討する本が異なり、本によって値段差があるため購入冊数に差が生まれている。 ○令和元年度に至っては絵本の蔵書数が安定し、絵本とは異なる形で物語などに触れる機会を増やしたいという思いでパネルシアター・エプロンシアターを購入した。 ○ALTYや国際交流推進員による読み聞かせも行っているので英語の絵本も増やしている。</p>

大項目	施策		事業内容	実績評価	計画全体の評価
	中項目	個別事業			
「いつも身近にある」環境づくり	小学校、中学校における図書の実方策	読書コーナーの配置	<p>上士幌小学校・中学校の目録電算化</p> <p>図書委員会・学習専門委員会活動の支援</p> <p>図書ボランティアへの活動依頼（読み聞かせ、ブックトーク、ブックスタート事業の紹介、図書の装備、図書室の環境整備）</p> <p>ブックトラック（移動式書架）の運用</p> <p>町立図書館への本の貸借依頼</p> <p>図書だよりの発行</p> <p>選書イベントの開催</p> <p>本の購入・登録手続き等学校用務代理</p> <p>読書アンケートの実施・集計・報告</p> <p>認定こども園での図書環境整備（予算は子ども課へ移行）</p> <p>放課後ほろんクラブでの読書推進事業（講師：十勝毎日新聞編集局長、斉藤博子氏）</p> <p>講演会の開催（講師：岸田典大氏、紺細工なつかし屋サクラ堂、よしながこうたく氏、とよたかずひこ氏、サトシン氏、原ゆたか氏、大友剛氏、沼田陽子氏、堀川真氏）</p> <p>絵本原画展の開催</p>	<p>小中学校の図書担当教諭と連携し、図書室の整備やブックトラック（移動式書架）、イベントや朝の読書活動等のシステム作りを行う。</p> <p>ハード部分のシステムは固まりつつある一方、学校用務と図書用務の線引きがあいまいとなる部分があり、役割のブラッシュアップが必要。</p> <p>講演会については、読書アンケートでも好意的な意見が多く、年に一度程度、読書コーナーと図書館が中心となり、他の関係機関とも情報共有を計りながら事業を実施することが望ましい。</p>	<p>「ブックトラック」は先生や子どもたちにとっても喜ばれている。（※児童会とも連携）</p> <p>読書コーナーの配置により、毎日貸し出しをしてももらえるためにも助かっている。また、児童会にも参加してもらっているため小学校での取り組みを共有できてありがたい。可能であれば今後も同じようになりたい。</p> <p>蔵書数が多くなるなど環境の整った生活に変わり、子どもたちも朝学習をはじめ、本に触れる機会が増えた。</p> <p>講演会も大規模になり、興味を持って参加できる方も増えた。</p> <p>図書館コーナーの存在も大きく、一生懸命に活動してくれることで子どもたちのために地域の方の協力も得られ活動の幅を広げてもらえたことはありがたい。</p> <p>認定こども園・小学校・中学校が連携することで本にとっても良い効果があると思われる。今後縦のつながりで本の紹介や読み聞かせ、イベントなど楽しい取り組みがあってもよいと思われる。</p> <p>今後も読書コーナーを配置し、選書イベントの開催や本の購入等連携して取り組んでもらいたい。</p> <p>小学校・中学校ともに本の蔵書は拡大してきており、特に低学年では「本が好き」とアンケートで回答する割合も増加している。一方で年齢が高まるにつれ、アンケートでも本を読むために図書館や学校図書室に行くという層が少なくなっている。</p> <p>小学校高学年から中学生にアプローチするための人材はこれからも必要と考える。</p>

大項目		施策		事業内容		計画全体の評価	
中項目	個別事業	実績	実績	実績評価	「ここまでの評価」 「今後の課題や意向」 等		
「いつも身近に本がある」環境づくり	小学校、中学校における図書の実の方策	上士幌小学校の図書環境のさらなる充実	平成28年度図書購入費 805,000円 平成29年度図書購入費 1,192,819円 平成30年度図書購入費 1,196,793円 令和元年度図書購入費 479,859円 令和2年度図書購入費 360,000円	蔵書数 7,923冊 蔵書数 8,759冊 蔵書数 10,000冊 蔵書数 10,317冊 蔵書予定数 10,317冊	○平成29年度に秋ヶ岡小学校、令和元年度に糠平小学校が開校になったことに伴い、図書の蔵書率は年々高くなっていく。 ○令和2年度においては、すでに学校図書館図書標準を達成しているが、今後も予算措置を続け、図書の更新や入替を行うことで、学校図書館の内容充実を図る必要がある。	○更新や入替を行っているため、可能な範囲で予算を確保してもらいたい。 ○学校図書の充実は大変必要なことと思われる。 ○閉校した学校からの本の充実もあり、展示を含めた図書室の充実がされており、年々素晴らしいものとなっている。 ○保護者にも声掛けをしての本の選書は良かったと思う。 ○本の保管ができるのか、更新や入れ替えをどのようにやるのかが課題だと思う。 ○学校でのプログラミング教育も進み、学びのスタイルも変化していくことが予想される。 ○小学校高学年からは家庭・学校以外で活動する時間が増え、物理的に本を借りることもや選ぶことが難しい場合も多く、電子書籍の活用も視野に入れたアプローチが必要と思われる。	
		上士幌中学校 図書の重点整備	平成28年度図書購入費 509,000円 平成29年度図書購入費 504,972円 平成30年度図書購入費 501,153円 令和元年度図書購入費 1,075,422円 令和2年度図書購入費 1,200,000円	蔵書数 5,597冊 蔵書数 5,941冊 蔵書数 6,094冊 蔵書数 6,889冊 蔵書予定数 7,739冊	○図書の整備率は、年々高くなってきてはいるものの、学校図書館図書標準は未だ達成できていない状況である。 ○今後も引き続き予算を措置し、蔵書冊数を増やしていく必要がある。	○図書の整備率が標準に達するように対応する必要があると思われる。 ○予算がつけば本を増やしていくのは良いことだが、保管する場所があるかが課題と思われる。 ○選書アンケート、選書イベントで生徒が関心のあつたものを選んで購入してもらいたい。 ○学校でのプログラミング教育も進み、学びのスタイルも変化していくことが予想される。 ○家庭・学校以外で活動する時間が増え、物理的に本を借りることもや選ぶことが難しい場合も多く、電子書籍の活用も視野に入れたアプローチが必要と思われる。	

大項目	施策		事業内容	計画全体の評価
	中項目	個別事業		
子ども自身が読書の大切さを実感できる取り組みの促進	全児童生徒で取り組み読書活動	認定子ども園“ほろん”での読書活動の促進	<p>事業内容</p> <p>実績評価</p> <p>実績</p> <p>□「行事の前」「活動前後」「午睡前(帰りの会)」「自由遊び」「活動の区切り」「給食前活動」の導入などに絵本や紙芝居・パネルシアター、エプロンシアターを用いている。</p> <p>□PCTAによる読み聞かせ</p> <p>□「お話会カックウ」に來園してもらい読み聞かせを各学年一回行っている。</p> <p>□絵本の貸し出し</p> <p>□おすすめ絵本の掲示</p> <p>□ALLT、国際交流推進員による読み聞かせ</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○各年齢ごとに時間のはらつきがあるが絵本に親しめるよう環境づくりや時間の確保等は職員一同意識して行っている。絵本から遊びが広がったり、反対に遊びでの発見を絵本で振り返るなど遊びの中でも絵本が大きな役割を果たしている。</p> <p>○子どもは文字が読めなくても絵で内容を考えて読んでみようというたり、目からの刺激を楽しんでいる。保育教諭に絵本を読んでもらうことで耳からの刺激となり、語彙増加に繋がっている。また、読み聞かせの時間が保育教諭と子どもとのスキミングとなり安心感や愛着形成にも大きな影響を与えている。</p> <p>○今後も職員やALTなどによる読み聞かせだけでなく、PCTAやお話会カックウなどの地域の方との触れ合いも楽しめる読み聞かせから絵本を楽しむ経験ができるようにしていくことが必要。</p> <p>○絵本の貸し出しは「おすすめ絵本」を掲示することで普段手にしない絵本にも興味を示し、目を通す姿がある。「おすすめ絵本」の掲示の仕方の工夫や「おすすめ絵本」の更新を行い、様々な絵本に興味を持てるようにしていく。</p> <p>○多くの子どもたちのなかにおいて、集中してお話を聞くことができようになる第一歩がこの時期と思われるため、活動を進めて頂きたい。</p> <p>○子ども園の幼少期は絵を見て言葉や歌を覚え、真似をしたり、虫や動物等の自然について学び、色々なことに興味を持つ大事な時期。絵本が生活する上で大事なことを学ぶ場になっているので、たくさん絵本に触れられる機会は貴重と思われる。</p> <p>○この時期にたくさん絵本に触れ、興味を持ち、小学生になっても本に触れる生活が普通になって欲しい。そのためにもこの活動を継続してもらいたい。</p> <p>○多彩できめ細やかな取り組みがされていくと素晴らしい。</p> <p>○熱心な取り組みのおかげで小学校に上がる段階で「本が好き」と答える児童が多い。</p> <p>○小学校高学年になると「家庭で本を読む(家にある本を読む)」と答える児童の割合が多く、図書館の活動が家庭に浸透していないことも多い。そのため、図書館活用を家庭に広げるきっかけとする機会がこの時期に持たないかを検討してみようか。</p>

大項目	施策		事業内容		計画全体の評価
	中項目	個別事業	実績	実績評価	
子ども自身が読書の大切さを実感できる取り組みの促進	全児童生徒で取り組み読書活動	全校児童生徒で取り組む「朝読」の取り組み	<p>□中学校では達成している。</p> <p>□小学校は、「上小っ子タイム」という朝の活動があり、読書だけでなく身体を動かす日等、学年・曜日ごとに活動スケジュールが設定されている。低学年を中心とした絵本の読み聞かせや、中学年・高学年向けのブックトーク、ブックスタート事業の紹介等、保護者・地域の図書ボランティアに協力いただきながら、朝の読書活動を行っている。</p>	<p>○10名前後の方が図書ボランティアとして、小学校での朝の読み聞かせを実施。</p> <p>○参加者が固定化されているため、新規参加者の獲得が課題となっている。</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○学年に応じて内容を考えて頂けているのがあるが、今後とも実施してもらいたい。</p> <p>○小学校において今年度は週に1回「朝読」を全ての学年で実施している。</p> <p>○「ひとり読書」「図書委員からの読み聞かせ」「ボランティアからの読み聞かせ」と様々な工夫がされており、とても良い活動だと思われる。</p> <p>○ボランティアはそれぞれの時間や得意・不得意があるので、それをうまく調整し、有効的に活用していくことが必要と思われる。</p> <p>○ボランティアについて、積極的な図書担当教諭が担任をされている際には保護者の参加率が高かった。参観日やPTA総会等多くの保護者が集まる機会に周知できなかが検討してみてもどうか。</p> <p>○毎朝同じ時間帯に10分程度、先生と児童が一緒に読む「朝読」は地味な活動だが、貴重な時間だと思われる。特に自分で選んだ本を読むことで、自分の関心・興味を知ることにもなり、本好きになる動機が形成されると思われる。</p>
		児童保育所で取り組む読書活動	<p>□長期休みの際の読み聞かせ。</p> <p>□お話会カックコウによる「お話会」への参加。</p> <p>□図書館職員による「絵本のトビラ」への参加。</p> <p>□毎年の約1万円の予算で5～6冊の図書を購入。</p> <p>□図書館へ保育中に子どもを連れに行く。</p>	<p>○長期休みの読み聞かせは先生間で担当日を決め、毎日それぞれが工夫して行うことができ、子どもたちも集中して聞くことができた。また、子どもたちも読み聞かせしてくれた。</p> <p>○「お話会」「絵本のトビラ」へ登所児童全員で参加することができた。</p> <p>○図書館へ行くときに積極的に声掛けし、本を借りたり、図書館内で本を読んだりして過ごすことができた。</p>	<p>○児童保育所は異学年の集まりなので大変だと思われるが、今後とも読書に関するこの活動が必要と思われる。</p> <p>○児童保育所が移転する際の利点として図書館との複合施設ということが挙げられており、とても良い環境だと思ふ。</p> <p>○このまま継続して活動を行ってもらいたい。</p> <p>○図書館から児童保育所へのアプローチが少なくなっている。</p> <p>○土曜日開催の「絵本のトビラ」を平日とし、様々なゲスト（読み手）を活用することで、一層の盛り上がりを生むことができなかが検討してはどうか。</p>

大項目	施策		事業内容		計画全体の評価
	中項目	個別事業	実績	実績評価	
子ども自身が読書の大切さを実感できる取り組みの促進	地域で進める子ども意識啓発	効果的な事業 告知	<input type="checkbox"/> 図書館日より <input type="checkbox"/> 図書館内、小学校、こども園、町内各所にポスター掲示 <input type="checkbox"/> 図書館内でのチラシ配布 <input type="checkbox"/> 利用者端末「お知らせ」で表示 <input type="checkbox"/> 町ホームページで表示 <input type="checkbox"/> 図書館内で利用者に直接声掛け	<p>○左記により周知を行うも、他行事と日程が重なるなどして、必ずしも多くの参加者を集めることができなかつた。</p> <p>○各種行事の前夜で、関連する本の展示（テーマ展示）を行うことで、利用者の興味・関心を引き出し、本の貸出につながるなど、行事と図書館利用の相乗効果が少なからず出ているといえる。</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○今後も継続していく必要があると思われる。</p> <p>○イベントのお知らせの周知が弱い。図書館内にポスター掲示を行っても、来館しない方は見ない。積極的な周知が必要と思われる。</p> <p>○学校行事や季節のイベントに合わせて「テーマ展示」を行い、生徒の興味を引き出せるようにする。</p> <p>○CSレターに「かっこうさんのお話会」を取り上げてもらったり、「図書館だより」でお話会かっこうのインタビューを掲載するなどすることで、より多くの方とつながりをもてるようにする機会づくりを検討する。</p>
			<p>毎年12月に開催しているお話会「カッコウ」のクリスマス会を、生涯学習センター改築以降、会議室4で開催している。場内を暗くし、スポットライトをあてて、絵本の読み聞かせ、ボードビル、パネルシアター、ジャンボ紙芝居などが行われた。いつものお話会と一味違った特別版。</p> <p>■上士幌町図書館の各年度の図書館資料購入費と蔵書数（実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28 2,899 千円、86,596 冊 ・ H29 2,870 千円、88,158 冊 ・ H30 2,899 千円、90,051 冊 ・ R1 2,897 千円、91,083 冊 ・ R2 2,900 千円、92,683 冊 <p>（H28～R1 までは決算と実績、R2 は当初予算と蔵書予定数）</p> <p>「読書コーディネーター」としての利用では、平成30年2月24日実施「えほんの世界を楽しく食べよう！」実施時に調理室を利用しての絵本の食べ物作成や各種講演会、プロジェクターやピアノなどの利用がある。</p>	<p>○複合的な施設としての利点として計画の中で目指していたのは、学童との連携等であった。</p> <p>○今後、例えば、学童に働きかけ児童による「図書係」や、保護者向けの図書館出張所文庫等を設ける等、様々な検討は可能と思われる。</p> <p>○窓のない会議室での開催は、暗いところで見ると「特別感」を演出できた。</p>	<p>○クリスマス会はとても良い事業だと思われる。</p> <p>○施設をより活用し、楽しい事業ができると良い。</p> <p>○読書と食育をつなげる企画は良い企画だと思われる。年間で様々な本を活用したり、一冊の本で数回実施するなどし、本にある実体験を行うということからは面白い試みだと思われる。</p> <p>○今後、保護者向けの「図書館出張所」や「パスファインダー」を学童保育所の児童と一緒に作成するなどの取り組みを検討したい。</p>

施策		事業内容		計画全体の評価
大項目	中項目	個別事業	実績	
子ども自身が読書を大切にする意識を高める取り組みの促進	地域で進める子ども意識啓発	北海道家庭教育サポーター企業との連携した取り組みの促進	<p>実績</p> <p>□CS 登録企業への廃棄本の配布 上士幌小学校図書室の除籍本を町内の北海道家庭教育サポーター企業に配布。</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○除籍本の活用はありがたい。 ○今後も連携した活動を継続することは必要と思われる。 ○仕事の紹介等と本と合わせるといった内容は実体験ができるといい点で良い。そのような機会を設けて頂きたい。 ○朝読を継続していく。 ○本と一緒に本に関連した人等を紹介する「人的資源の活用」を行うことの方が効果的と思われる。 ○北海道家庭教育サポーター企業の一覧を図書館に掲示してはどうか。 ○登録企業の職員に放課後ほろくらぶなどで協力して頂き、「アイスクリーム屋さん」の仕事を本と紹介するといった「人的資源の活用」等を検討してはどうか。</p>
			<p>実績評価</p> <p>○CSの参加団体企業に朝の読書活動の実施呼び掛けや廃棄本の配布等を行った。 ○計画では恵庭市のような街の中での図書環境の充実を目的としていたと思われるが、廃棄本の評判は良くなかった。 ○今後については、登録企業の職員に放課後ほろくらぶなどで協力して頂き、「アイスクリーム屋さん」の仕事を本と紹介するといった「人的資源の活用」の方が、学校にも企業にも望まれているように思われる。</p>	

大項目		施策		事業内容		計画全体の評価	
中項目	個別事業	実績	事業内容	実績評価	「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等		
家庭での読書を広げていく取り組み	保護者の意識を高める取組の推進		<p>H28</p> <p>2/2 絵本パフォーマー岸田町連合PTAとの共催により、教育講演会を実施。 講師：絵本パフォーマー岸田氏 131名参加</p> <p>3/18 図書館事業「えほんのトビラ」と連携し、イベントを実施。 講師：館細工なつかし屋サクラ堂 60名参加</p> <p>H29</p> <p>10/14 「よしながこうたくさんと絵本の世界を楽しもう！」 80名参加</p> <p>2/24 「絵本の世界を楽しく食べよう！」 21名参加</p> <p>H30</p> <p>5/20 「ももんちゃんとおそぼう！inかみしほろ」北海道文学館共催 講師：とよたかずひこ氏、岸田典大氏 ワークショップ 100名参加 / 講演会 54名参加</p> <p>7/15 「絵本&おてて絵本のしくよみましょー」 講師：サトシン氏 講演会 29名参加</p> <p>7/22 「かいけつゾロリの原ゆたか先生お絵かき会+講演会」 講師：原ゆたか氏 ワークショップ 50名参加 / 講演会 83名参加</p> <p>9/29 「マジックと音楽と絵本のコンサート」 講師：絵本作家・マジシャン 大友 剛氏 講演会 56名参加</p> <p>10/22 「絵本を学ぼう！絵本の研修会」 講師：帯広図書館司書 沼田陽子氏 研修会 14名参加</p> <p>10/27~11/9 「ふぁいたーず絵本原画展」 芳名帳記載数 145名 / ワークショップ 12名参加</p> <p>10/27 「真先生の工作教室」 講師：絵本作家 堀川真氏</p> <p>□その他講演会事業 「親子で楽しく遊びましょう」「絵本の読み聞かせ研修会」「絵本作家・児童文学作家講演会」</p> <p>平成29年度から3年間にわたって、3歳未満の乳幼児図書館の保護者を対象に、絵本・わらべ歌・紙芝居を介した親子遊びを学ぶ図書館子育て講座「親子で楽しく遊びましょう」を開催。講師については、札幌のNPO法人「北海道子育て支援ワーカーズ」から2名の講師を招聘。親子遊びが豊かな親子関係を築き、子どもの健やかな成長を促すことを保護者に理解してもらおうことが目的。</p>	<p>○講演会は読書アンケートでも「次回こんなイベントを行ってほしい」と、子どもや保護者からの記載が多く、読書欲を高める起爆剤的な契機になると感じた。</p> <p>○町のブックスタート事業で配布される絵本と並んで、親子遊びが子どもにとって、やがて読み聞かせに親しむ段階を経て、本好きになっていく素地を作ることが期待される。</p>	<p>○保護者の意識を高めるということは大変難しいことだが、今後も活動は継続するべきだと思われる。</p> <p>○これまでは予算の関係もあり、絵本作家を招いての事業を実施するということは限られた機会であったが、平成28年度からは多くの講師を招くことができ、心に残る体験ができたということは間違いないと思われる。</p> <p>○子どもと一緒に参加型の体験や見て楽しむという内容のものが多く実施された。今後も継続してもらいたい。</p> <p>○親子おすすめ本や「〇歳の本棚」等、様々な世代で本が活用できると意識できる機会をつくることを検討してはどうか。</p> <p>○作家を講師とした講演会は作家や作品を知っている参加者が作品世界への理解と親しみを深める大きな喜びとなるとともに、作家や作品を知らない参加者にとっては未知なることに触れ、本に親しむきっかけになりうる。講演会前後における「としよかんだより」での紹介やポスター・チラシ、テーマ展示等あらゆる方法で作家と作品の情報発信を行うことが大切だと思われる。</p>		

大項目		施策		事業内容		計画全体の評価
中項目	個別事業	実績	実績評価	実績評価	「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等	
家庭での読書を広めていく取り組み	保護者の意識を高める取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> □各講演会冒頭において、課長より読書推進計画の策定を行ったこと、読書推進イベントはその一環であることなどを冒頭で紹介。 □図書館子育て講座「親子で楽しく遊びましよう」の関連本の展示をはじめとして、「児童書」や「絵本」、「子どもの読書」などをテーマとした展示を年間複数実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業が単発での取組みも多かったため、「イベント後、作家へお礼の手紙を子どもたちから発信してもらい、作家と交流を深める」 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者は講座等の機会を好み、熱心に参加し、興味を示してくれると思うが、近年は動く保護者の増加があるため開催日時を検討する必要があると思われる。 ○今後については作家と交流を深めるような取組みも検討してはどうか。 	「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等	
	地域における保護者の支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 【CS登録企業への廃棄本の配布】 □図書館の廃棄本を企業へ配布。 □廃棄本が出るときには、学校図書館の本も企業や公共施設へ配布。 <p>商店街・飲食店・入浴施設等、町民が日常的に足を運ぶ場所において、親子で絵本を楽しむ環境整備は行っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○CSの団体企業のなかで朝の読書活動や廃棄本の配布などを行った。 ○計画では恵庭市のような街の中で図書環境を充実させることを目的としていたようだが、廃棄本の評判は良くなかった。 ○登録企業の方を放課後ほろくらブなどで招き、「アイスクリームやさんの仕事」を本と紹介するなど、人的資源の活用の方が、学校にも企業にも望まれているように感じた。 ○第一期の計画の案と実態が乖離しており、地域のニーズと学校のニーズをすり合わせ、放課後や朝読みの時間へ積極的に地域の大人を巻き込むことで、地域全体で取組む読書活動へシフトしていくことが求められている。 ○子どもたちが主体的にかかわる活動、親子で楽しく参加できる活動の工夫が必要だと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の商店街に本を置いてもらいたい。 ○ハレタや道の駅に図書館の利用案内を設置してもらってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書イベントが「楽しい」「参加したい」と定着されるようにこれからのイベントを工夫し、周知してもらいたい。 ○一人でも「図書館に行きたい（寄りたいたい）」と思ってもらえるような小学校高学年から中学生に向けたアプローチが必要と思われる。そのための環境づくりも検討してもらいたい。 	
	子どもの居場所となる図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> 巡回文庫以外の学童との貸し出しが増加。 □児童書・絵本・DVDの充実 □赤ちゃん連れの利用に向けた、赤ちゃん絵本の充実、ベビーカーの配置、お話のへや（靴を脱いで、親子がくつろげる空間）の開放。 □「めざせ！としょかんクイズ王」「お話し会」「めざせ！昆虫博士」「映画会」「図書館体験の日」等、子どもが図書館で楽しめる行事の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが主体的に関わる活動、親子で楽しく参加できる活動の工夫が必要だと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書イベントが「楽しい」「参加したい」と定着されるようにこれからのイベントを工夫し、周知してもらいたい。 ○一人でも「図書館に行きたい（寄りたいたい）」と思ってもらえるような小学校高学年から中学生に向けたアプローチが必要と思われる。そのための環境づくりも検討してもらいたい。 		

大項目		施策		事業内容	計画全体の評価
中項目	個別事業	実績	実績評価		
家庭での読書を広めていく取り組み	地域における保護者の支援体制の充実	<p>祝日開館の実施</p> <p>平成27年度から施行が始まった（月曜日を除いた）祝日開館は、この5年間で祝日開館日ごとの利用は伸びてきている。</p> <p>「開館時間の延長（夜間開館）」が本計画に掲載されているが、夜間開館実施への具体的な検討はしていない。</p>	<p>○未就学児の保護者が貸読めされた「楽しい本」「親子で読む本」等を選ぶようなパッケージ貸し出し等の導入の検討が必要と思われる。</p> <p>○職員室へ学校の先生におすすみたい本やリクエスト本を届ける「職員室文庫」やその企業版などの利用しやすい図書館づくりを実施することで、開館時間や祝日開館よりも、「本と触れ合う機会の増加」や「本を選ぶ時間の短縮」などといった利用者ニーズをより丁寧にくみ取ったサービスの提供とそのサービスを提供できる体制づくりが必要と思われる。</p> <p>○祝日開館によって年間の回数が増えたが、年間の利用増には至っていない。</p> <p>○夜間開館については具体的な検討はしていない。今後は、調査・検討が必要。</p>	<p>「ここまでの評価」「今後の課題や意向」等</p> <p>○選びやすい展示や色々な方からの本の紹介や興味毎のおすすぬ本や楽しめるPOPなどの工夫を今後も継続してもらいたい。</p> <p>○「今月は農協の方」「来月は〇年生（または保護者）」等と本を紹介する方が色々と変わる方式である新たな興味がうまれるのではないか。</p> <p>○祝日にクイズラリーなどを行い、図書館に集まるきっかけをつくるというのではないか。</p> <p>○夜間開館は「限定」で試行し、実際に利用があるのかを検証することが有効ではないか。</p> <p>○忙しい方に向けて、より短時間で本を選べたり、貸し出しができるサービスを検討してはどうか。</p>	

上士幌町第2期子どもの読書推進計画

発行 上士幌町教育委員会

編集 上士幌町図書館

〒080-1408

北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線237番地

電話番号 01564 (2) 4634

Fax 番号 01564 (2) 3180